





このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説 明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利 用できるように保管してください。

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意 ください。

1.複製、印刷することが禁止されているもの

- (見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)
- ・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- ・日本や外国の郵便切手、印紙

(関係法律)

- ・紙幣類似証券取締法
- ·通貨及証券模造取締法
- ·郵便切手類模造等取締法
- ·印紙等模造取締法
- ·(刑法第148条第162条)
- 2.不正に複製、印刷することが禁止されているもの
 - ・外国の紙幣、貨幣、銀行券
 - ・株券、手形、小切手などの有価証券
 - ・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
 - ・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画 (関係法律)
 - ·刑法第149条第155条第159条第162条
 - ・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 3.著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物(書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など)を複 製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷す る場合を除き、禁止されています。

* 画面の表示内容やイラストは機種、オプション、機能の設定によって異なります。

使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

☆ 重要

- ・本機の使用説明書は、紙マニュアルと電子マニュアル(PDF 形式)が用意されています。
- ・電子マニュアルは、付属の CD-ROM に収録されています。
- ・提供される形態は使用説明書により異なります。詳しくは、「マニュアルー覧表」を参照してください。
- ・本機の使用説明書は、紙マニュアル/電子マニュアルとも同じ記載内容となっています。
- ・PDF形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。

◆ 本機のご利用にあたって

「安全上のご注意」について記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。 また、本機で使用できる機能の概要、機械を使うための準備、操作部の説明、文字入力 方法、付属 CD のインストール方法などについても説明しています。

♦ 初期設定編

本機を使うための各機能の初期設定方法、アドレス帳の登録方法、機器の接続方法など について説明しています。

- ◆ こんなときには 困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。
- ♦ セキュリティ編

管理者向けの説明書です。本機を不正な使用やデータの改ざんといった脅威から守るための方法、各管理者の設定方法、ユーザー認証の設定方法などについて説明しています。 セキュリティ強化機能や認証の設定を行う前に必ずお読みください。

- ◆ コピー機能 / ドキュメントボックス機能編 コピーを使うための設定、機能と操作方法、原稿の設定方法について説明しています。 また、ドキュメントボックスの使用方法についても説明しています。
- ◆ **ファクス機能編** ファクスを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。
- ◆ **プリンター機能編** プリンターを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。
- ◆ **スキャナー機能編** スキャナーを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。
- ◆ ネットワークガイド ネットワーク環境で使う方法、付属のソフトウェアを使う方法について説明しています。
- ♦ RP-GL/2 編

RP-GL/2 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

♦ RTIFF 編

RTIFF エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

♦その他の使用説明書

- ・クイックガイド
- PostScript 3 編

➡ 補足

- ・ご使用の機種により、同梱されている使用説明書が異なります。詳しくは、『本機のご利 用にあたって』「付録」を参照してください。
- ・RPDL エミュレーションについては、販売店にご確認ください。

E 参照

・『本機のご利用にあたって』「付録」

マニュアル一覧表

	紙マニュアル で	電子マニュアル (PDF 形式)
分冊名		
本機のご利用にあたって	あり	なし
初期設定編	なし	あり
こんなときには	あり	なし
セキュリティ編	あり	なし
コピー機能 /	なし	あり
ドキュメントボックス機能編		
ファクス機能編	あり ^{*1}	なし
プリンター機能編	なし	あり
スキャナー機能編	なし	あり
ネットワークガイド	なし	あり
RP-GL/2 編	なし	あり
RTIFF 編	なし	あり
PostScript 3 編	なし	あり
クイックガイド	あり	なし

*1 ファクス機能を搭載していない機種では「なし」になります。

目次

使用説明書の分冊構成	1
マニュアル一覧表	3
この本の読みかた	7
マークについて	7
おもなオプションと略称	8

1. 困ったときには

表示されるマークについて	. 9
ブザー音について	10
本機の状態や設定内容を確認する	11
幾能キーの右側のランプが点灯したとき	14
本機の操作ができないとき	15
幾能が実行されないとき	22

2. コピー機能がうまく使えないとき

メッセージが表示されたとき	25
コピーがきれいにとれないとき	28
思いどおりにコピーできないとき	31
メモリーがいっぱいになったとき	35

3. ファクス機能がうまく使えないとき

音量を調節したいとき メッセージが表示されたとき 思いどおりに送信・受信できないとき メモリーがいっぱいになったとき エラーレポートが印刷されたとき 電源を切る / 切れたとき 電源断レポート インターネットファクスでエラーになったとき エラー通知メール (ERROR MAIL NOTIFICATION)	37 40 51 52 54 55 57 57
インターネットファクスでエラーになったとき	57
エラー通知メール (ERROR MAIL NOTIFICATION)	57
エラーレホート (メール)	58
サーバーからのエラーメール	59

4. プリンター機能がうまく使えないとき

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき	61
Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0 の場合	61
Windows XP Professional、Windows Server 2003 の場合	62
Windows XP Home Edition の場合	63
USB 接続がうまくいかないとき	64
メッセージが表示されたとき	65
状態表示メッセージ	65
エラーコードが表示されないメッセージ	66
エラーコードが表示されるメッセージ	68
エラー履歴を確認する	75

印刷が始まらないとき	76
思いどおりに印刷できないとき	79

5. スキャナー機能がうまく使えないとき

思いどおりに読み取れないとき	87
ネットワーク配信やメール送信が思いどおりにできない	89
文書にアクセスできない	89
ファイル送信時にネットワーク参照ができない....................................	89
TWAIN ドライバーが起動しない....................................	89
蓄積文書を編集できない	90
ネットワーク配信機能が使用できない	90
メッセージが表示され操作ができない	90
メッセージが表示されたとき	91
操作部の画面にエラーメッセージが表示されたとき	91
クライアントコンピューターにエラーメッセージが表示されたとき	98

6. 用紙やトナーなどがなくなったとき

用紙がなくなったとき
給紙トレイ 1、2 に用紙をセットするとき
給紙トレイ3から5に用紙をセットするとき 106
トレーシングペーパー(第二原図用紙)をセットするとき
天地の向き・表裏のある用紙(レターヘッド紙)109
用紙サイズを変更するとき 111
給紙トレイの用紙サイズを変更するとき 111
用紙サイズ表示にないサイズを設定するとき 114
トナーがなくなったとき
黒トナーを補給する
赤トナーを補給する
トナーがなくなったときの送信
使用済みトナーについて
ステープラーの針がなくなったとき 122
済スタンプを交換する
キーカウンターをセットするとき 125
キーカウンターをセットする

7. 用紙や原稿などがつまったとき

用紙や原稿がつまったとき	27
紙づまりを確認する	128
紙づまりを取り除く	129
Aが表示されたとき	130
Bが表示されたとき....................................	130
Cが表示されたとき....................................	131
Dが表示されたとき....................................	131
Eが表示されたとき	132
Pが表示されたとき(自動原稿送り装置(ADF)装着時).................	132
R1 から R5 が表示されたとき(フィニッシャー装着時)	133
Z が表示されたとき	133
ステープラーの針がつまったとき1	34
パンチくずがいっぱいになったとき	35

8. 保守・運用のために

設置、移動、廃棄について 1	137
移動について	137
フロア内移動について....................................	138
移動後の設置条件	139
設置場所について	139
設置に必要なスペース	140
アースについて	141
電源について	142
廃棄について	143
清掃のしかた	144
原稿ガラスの清掃	144
原稿カバーの清掃	145
自動原稿送り装置(ADF)の清掃	145
電源プラグの清掃	146
製品の保守サービスについて 1	147
契約書について	147
補修用性能部品について	147
索引 1	148

この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

▲警告

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定 される内容を示しています。『本機のご利用にあたって』「安全上のご注意」にまとめて記 載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容 および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。『本機のご利用にあたって』 「安全上のご注意」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

★ 重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿 破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

● 補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

E 参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。 各タイトルの一番最後に記載しています。

[]

キーとボタンの名称を示します。

ſ j

本書以外の分冊名称を示します。

おもなオプションと略称

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
原稿カバー PN6000	原稿カバー
ドキュメントフィーダ TG3	自動原稿送り装置 (ADF=Auto Document Feeder の略)
インナー 1 ビントレイ TG3	本体上トレイ
サイドトレイ TG3	左トレイ
中継ユニット TG3	中継ユニット
フィニッシャ TG2	フィニッシャー
自動両面ユニット TG3	両面ユニット
原稿置き台 TG3	原稿置き台
赤現像ユニット TG3	赤現像ユニット
PPC キーカウンター取り付けユニット タイプ N10	キーカウンター取り付けユニット
A2 コントローラ TG3	プリンター・スキャナーユニット
A2 FAX TG3	ファクスユニット
FAX メモリ TG3	FAX メモリー
増設 G3 チャネルユニット タイプ 6	増設 G3 ユニット
G4FAX ユニット タイプ 6	G4 ユニット
ハンドセット TG3	ハンドセット
セキュリティカード TG3	セキュリティカード
PS3 カード TG3	PS3 カード
拡張無線 LAN ボード タイプ J	拡張無線 LAN ボード
ワイヤレスインターフェースボード タイプ 1	拡張 Bluetooth ボード
拡張 1284 ボード タイプ B	拡張 1284 ボード
拡張データ変換ボード TG3	拡張データ変換ボード
GigaBit イーサネットボード タイプ 6	1 ギガイーサネットボード

各機能に共通の、基本的なトラブルについて説明します。

表示されるマークについて

紙づまりや用紙補給など、お客様による操作が必要となった場合に操作部に表示される マークについて説明します。

೫4: ミスフィード表示	紙づまりが発生したときに表示されます。 紙づまりの除去方法については、P:127 「用紙や原稿がつまったと き」を参照してください。
山 ∶ 用紙補給表示	用紙がなくなったときに表示されます。 用紙の補給方法については、P:103 「用紙がなくなったとき」を参 照してください。
▲:トナー補給表示	トナーがなくなったときに表示されます。 トナーの補給方法については、P.117 「トナーがなくなったとき」 を参照してください。
■: ステープル補給表示	ステープラーの針がなくなったときに表示されます。 ステープラーの針の補給方法については、P.122 「ステープラーの 針がなくなったとき」を参照してください。
図:廃棄トナーボックス満 杯表示	廃トナーが満杯になったときに表示されます。 販売店またはサービス実施店に連絡してください。
■:パンチくず満杯表示	パンチくずが満杯になったときに表示されます。 パンチくずを取り除く方法については、P:135 「パンチくずがいっ ぱいになったとき」を参照してください。
1:サービスコール	機械が故障したり、修理が必要なときに表示されます。
□・:カバーオープン表示	本機の前カバーなどが開いているときに表示されます。

ブザー音について

本機は、機器の状況や原稿の置き忘れなどをブザー音でお知らせします。それぞれのブザー 音について説明します。

ブザー音のパターン	意味	状態
" ピーピー "	ウォームアップ通知音	予熱を解除したときや電源を入れたとき に、コピーできる状態になったことをお 知らせします。
"ピッ"	入力確認音	操作部や画面のキーを押したことをお知 らせします。
" ピッピー "	入力無効音	無効なキーが押されたときやパスワード 入力などを間違えたときにこの音が鳴り ます。
" ピー "	正常終了音	コピー / ドキュメントボックス機能で印 刷が終了したことをお知らせします。
" ピーピーピーピー "	弱注意音	節電モードに移行したときや、簡単画面 のときに設定がリセットされ、初期画面 に戻るときなどにこの音が鳴ります。
" ピーピーピーピー" " ピーピーピーピーピー" " ピーピーピーピー" " ピーピーピーピー"	弱注意音 (同じパターンを 4 回繰り 返します)	原稿ガラスに原稿を置き忘れたとき、用 紙切れのとき、パンチくずが満杯になっ たときなどにこの音が鳴ります。
" ピピピピピ" " ピピピピピ" " ピピピピピ" " ピピピピピ" " ピピピピピ"	強注意音 (同じパターンを 5 回繰り 返します)	紙づまり、トナー補給や何らかの異常に より、お客様による対処が必要となった 場合にこの音が鳴ります。

↓ 補足

- ・鳴動中のブザー音を止めることはできません。このため紙づまりやトナー補給の際に、前 カバーなどの開閉を続けて行うと、本機が正常な状態に戻っていてもブザー音が鳴り続 けることがあります。
- ・ブザー音を鳴らすか鳴らさないかの設定について、『初期設定編』「システム初期設定」を 参照してください。

E 参照

・『初期設定編』「システム初期設定」

本機の状態や設定内容を確認する

本機のシステム状態が確認できます。

♦ 保守/補給

[保守/補給] では次の項目が確認できます。

- ・トナー残量
 - トナーの残量がわかります。
- ステープルエンド
 どこのステープルの針がなくなったのかがわかります。
- ・パンチくず満杯
- パンチくずが満杯かどうかわかります。
- ・給紙トレイ 給紙トレイにセットされている用紙の種類とサイズなどがわかります。
- ・排紙トレイ満杯 排紙トレイに用紙が満杯になっているかどうかわかります。
- ・原稿ミスフィード 原稿の紙づまり状態と対処方法がわかります。
- ・用紙ミスフィード 用紙の紙づまり状態と対処方法がわかります。
- ・カバーオープン
 前カバー、両面ユニットなどが開いているかどうかわかります。
- ♦メモリー/文書数
 - [メモリー/文書数]では次の項目が確認できます。
 - HDD メモリー残量
 HDD のメモリー残量がわかります。
 HDD 内文書数
 - HDD 内に蓄積されている総文書数がわかります。
 - ・プリンター文書 HDD内に蓄積されている保留印刷文書/保存文書/機密印刷文書/試し印刷文書数が わかります。
 - ・ファクス送受信文書
 ファクスメモリー内に蓄積されている送信待機文書/封筒受信文書/受信印刷文書数
 /「その他」の文書数がわかります。
 - ・メモリー内残存データ状態
 メモリーにあるデータの状態がわかります。

◆機器アドレス / ファクス番号

[機器アドレス / ファクス番号] では次の項目が確認できます。

- ・ファクス番号 本機のファクス番号がわかります。
- ・H.323 エイリアス電話番号
 本機のエイリアス電話番号がわかります。
- ・SIP ユーザー名 本機の SIP ユーザー名がわかります。
- ファクスメールアカウント
 本機のファクスメールアカウントがわかります。
- ・本体 IPv4 アドレス
 本機の IPv4 アドレスがわかります。
 ・本体 IPv6 アドレス
- 本機の IPv6 アドレスがわかります。
- ♦ 問い合わせ情報

[問い合わせ情報]では次の項目が確認できます。

- ・機械修理
 本機を修理するために必要な本機番号と連絡先の電話番号がわかります。
- ・営業窓口 営業窓口の電話番号がわかります。
- ・消耗品発注先 本機で使用している消耗品を発注する電話番号がわかります。
- ・消耗品名称
 本機で使用しているトナー、ステープルの針、済スタンプの名称がわかります。

】操作パネルから、[システム状態]を押します。

等倍月	紙指定変倍	A2→A3 A3→A4	A3→A2 A4→A3	93%
片面→両面:左右	両面→両面	片面→2枚ごと	集約片面→4枚	ごと集約
$1 \xrightarrow{2} \rightarrow 1 \xrightarrow{2}_{2}$	$2 \rightarrow 2_2$	1 ² → 1	2 12.	→ <mark>12</mark> 34
DD BBBBBB				
仕上げ	表紙/合	紙 編	集/カラー	両面/集約
		システム状態	🦉 ўзў	一覧

1

2 各タブを押して、内容を確認します。



3 確認後、[閉じる]を押します。元の画面に戻ります。

		ĺ	閉じる
として、機器アドレス/ファクス者	野人	問い合わせ情報	報
▶ 給紙トレイ トレイ1 トレイ2 トレイ3 トレイ4 トレイ5 手差しトレイ	: UA4 : UA3 : UA3 : UA2 : UA2 : UA2		

↓ 補足

- ・異常がない場合は、[排紙トレイ満杯]、[原稿ミスフィード]、[用紙ミスフィード]、[カ バーオープン]の項目は表示されません。
- ・紙づまりを確認する方法や紙づまりの取り除き方法については、「紙づまりを確認する」、
 「紙づまりを取り除く」を参照してください。



- ・P.128 「紙づまりを確認する」
- ・P.129 「紙づまりを取り除く」

機能キーの右側のランプが点灯したとき

各機能キーの右側のランプが点灯しているときは、右側のランプが点灯している機能キー を押してください。その後、操作部に表示されるメッセージに従って対処してください。



お使いの機能でエラーが発生したときは、操作部に表示されたメッセージを確認し、その 機能の「メッセージが表示されたとき」を参照してください。ドキュメントボックス機能 については「コピー機能がうまく使えないとき」を参照してください。 ランプが点灯する主な原因は以下のようになります。

状態	原因	対処方法と参照先
文書やレポートな どを印刷できない。	排紙先のトレイに 用紙がいっぱいに なっています。	トレイから用紙を取り除いてください。
文書やレポートな どを印刷できない。	印刷中に用紙がな くなりました。	用紙を補給してください。用紙の補給方法については、 P103 「用紙がなくなったとき」を参照してください。
エラーが発生した。	右側のランプが点 灯している機能が 故障しています。	サービス実施店に連絡してください。このときに画面に 表示された番号もお知らせください。詳しくは、各章の 「メッセージが表示されたとき」を参照してください。 その他の機能は通常どおり使えます。
ネットワークに接 続できない。	何らかの理由で、 ネットワークに接 続できなくなりま した。	 ・表示されている内容を確認して、エラーの対処をしてください。詳しくは、各章の「メッセージが表示されたとき」を参照してください。 ・ネットワークに正しく接続されているか、また本機の設定が正しいか確認してください。詳しくは、『初期設定編』「インターフェースを接続する」を参照してください。 ・ネットワーク管理者に確認してください。 ・上記の対処をしても機能キーが消灯しない場合は、最寄りのサービス実施店に連絡してください。

本機の操作ができないとき

画面にメッセージが表示されたときや、思いどおりに印刷できないときの対処方法を説明 します。

メッセージはおもなものについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、 メッセージに従って対処してください。

- ★重要
- ・サービスコール(↑)のメッセージには、連絡先と機械番号が表示されますので、ご確認の上、サービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄の場合は、販売店に連絡してください。

状態	原因	対処方法と参照先
電源が入らない。	主電源スイッチが「Off」	主電源スイッチを「On」にしてくだ
	になっています。	さい。
[電源] キーを「On」にし てコピー機能の画面が表示 されたが、[ファクス] や [スキャナー] キーを押して も画面が切り替わらない。	コピー機能以外の機能が起 動中です。	しばらくお待ちください。
[電源] キーを「On」にし、 [初期設定/カウンター/問 合せ情報] キーを押して初期 設定のメインメニューを表示 させたが、全ての初期設定メ ニューが表示されない。	コピー機能以外の機能が起 動中です。各機能は起動に かかる時間が異なります。 初期設定メニューは起動し た機能から順番に表示され ます。	しばらくお待ちください。
機能別状態表示ランプが赤 く点灯している。	赤く点灯しているキーの機 能が中断しています。	赤く点灯している機能キーを押します。 操作部に表示されているメッセージに したがって対処してください。
[電源] キーを押しても、点 滅したままで消灯しない。	次のときには、[電源] キーを押しても消灯せず、 点滅します。 ・原稿カバー、自動原稿送 り装置(ADF)が開いて いるとき ・外部の機器と通信中のとき ・ハードディスクが動作 しているとき ・ファクスユニットを装 着しているときにダイ ヤルイン機能を使用し ているとき	主電源スイッチを「Off」にするとき は、原稿カバー、自動原稿送り装置 (ADF)を閉じ、パソコンから本機へ の操作が行なわれていないことを確 認してください。
画面の表示が消えている。	予熱状態になっています。	[予熱] キーを押して予熱を解除して ください。

1

状態	原因	対処方法と参照先
画面の表示が消えている。	[電源]キーが「Off」に なっています。	[電源] キーを押して「On」にして ください。
画面の表示が消えている。	画面コントラストつまみが暗 い位置に調整されています。	画面コントラストつまみを画面の表 示が見える明るい位置に調整してく ださい。
画面に「Please Wait」と表 示されている。	[電源] キーを「On」にし たときに表示されます。	2 分以上たっても本機が立ち上がら なかった場合は、サービス実施店に 連絡してください。
画面に「しばらくおまちくだ さい。」と表示されている。	トナーを補給したときなど に表示されます。	2 分以上たっても本機が立ち上がら なかった場合は、サービス実施店に 連絡してください。
画面に「メモリーの容量が 限界になりました。すでに 読み取った文書を蓄積しま すか?」と表示される。	読み取られた原稿がハード ディスクに蓄積できる枚数、 ページ数を超えました。	 ・読み取ったページまでを蓄積する ときは、[蓄積する]を押します。 不要になった文書を[文書消去]で 消去してください。 ・読み取ったページまでを蓄積しな いときは、[蓄積しない]を押しま す。不要になった文書を[文書消 去]で消去してください。
画面に「この機能を利用す る権限はありません。」と 表示されたまま画面が切り 替わらない。	入力したユーザーコードに 機能を使う権限が設定され ていません。	管理者に確認してください。
画面に「この機能を利用す る権限はありません。」と 表示されたまま画面が切り 替わらない。	入力したユーザーコードに 機能を使う権限が設定され ていません。	[予熱] キーを押して画面が消えたの を確認し、もう一度 [予熱] キーを 押してください。ユーザーコードを 入力する画面にもどります。コピー / プリンターからの印刷中は、印刷が 終わるのを待ってから、[予熱] キー を押してください。
画面に「認証に失敗しまし た。」と表示されている。	ログインユーザー名、また はログインパスワードが間 違っています。	ログインユーザー名、またはログイ ンパスワードを確認してください。
画面に「認証に失敗しまし た。」と表示されている。	本機が認証できない状況に なっています。	管理者に確認してください。
画面に「選択された文書に アクセス権のない文書が含 まれていました。アクセス 権のある文書のみ消去され ます。」と表示されている。	削除する権限のない文書を 削除しようとしました。	文書作成者が削除することができま す。削除する権限のない文書を削除 したいときは、文書作成者に確認し てください。

状態	原因	対処方法と参照先
給紙トレイにつまった用紙を 取り除いたが、操作部のエ ラーメッセージが消えない。	 ・前カバーの開閉が行われていません。 ・まだ取り除かれていない用紙があります。 	つまった用紙を取り除いた後、前カ バーの開け閉めを行なってください。 詳しくは、P127 「用紙や原稿がつ まったとき」を参照してください。
トレーシングペーパーにコピー すると紙づまりが起こる。	トレーシングペーパーが カールしている可能性があ ります。	本機では、トレーシングペーパーはト レイ5にセットすることを推奨してい ます。トレイ5に正しくセットしてく ださい。詳しくは、P:108 「トレーシ ングペーパー(第二原図用紙)を セットするとき」を参照してくださ い。
再生紙「やまゆり」にコ ピーすると紙づまりや用紙 の端が折れ曲がって排紙さ れる。	再生紙「やまゆり」がカール している可能性があります。	再生紙「やまゆり」では、強いカー ルが発生することがあります。用紙 の表裏を変えて再セットしてくださ い。さらに、「紙厚設定」で「再生 紙」の設定を [2] から [3] へ変更 してください。詳しくは、『初期設定 編』「用紙設定」を参照してくださ い。
用紙の断面が汚れる。	用紙の送り方向や表裏で カールの強さが異なるため、 本体内部で用紙がカールし ている可能性があります。	用紙のセット方向(表裏、給紙トレ イセット面)や、用紙の送り方向 (縦送り、横送り)を変えて再セット してください。
ユーザーコード入力画面が 表示されている。	ユーザーコード利用者制限 が設定されています。	8 桁までのユーザーコードを入力し て、[実行] を押します。
ログイン画面が表示されて いる。	ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合 サーバー認証が設定されて います。	個人ごとに設定されたログインユー ザー名とログインパスワードを入力 して[ログイン]を押してください。 詳しくは、『本機のご利用にあたっ て』「ログイン画面が表示されたと き」を参照してください。
用紙の裏面に印刷された。	セットされている用紙の表 と裏が逆になっています。	正しい向きにセットしてください。給 紙トレイに用紙をセットするときは、 印刷したい面を上にセットしてくださ い。手差しトレイに用紙をセットする ときは、印刷したい面を上にしてくだ さい。詳しくは、P109「天地の向 き・表裏のある用紙(レターヘッド 紙)」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	給紙トレイのサイドフェン スが正しくセットされてい ません。	 ・用紙を取り除いてください。詳しく は、P.127「用紙や原稿がつまった とき」を参照してください。 ・サイドフェンスが正しくセットさ れているか確認してください。さら に、トレイ3から5の場合は、サ イド固定レバーがロックされてい るかどうかも確認してください。詳 しくは、P.111「用紙サイズを変更 するとき」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	給紙トレイのバックフェン スが正しくセットされてい ません。	 用紙を取り除いてください。詳しくは、P.127「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。 バックフェンスが正しくセットされているか確認してください。詳しくは、P.111「用紙サイズを変更するとき」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	給紙トレイのサイズ設定と 用紙のサイズが異なってい ます。	 用紙を取り除いてください。詳しくは、P.127「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。 自動検知されない用紙をセットしているときは、「用紙サイズ設定」で用紙サイズを設定してください。 詳しくは、『初期設定編』「用紙設定」、『本機のご利用にあたって」「用紙について」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	フィニッシャーのトレイに 物を置いています。	 ・用紙を取り除いてください。詳しくは、P.127「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。 ・紙づまりの原因になりますので、フィニッシャーのトレイの上に物を置かないでください。
両面印刷できない。	手差しトレイにセットした 用紙は両面印刷できません。	両面印刷を行なうときは、コピー機 能の設定画面またはプリンタードラ イバーで、トレイ 1-5 を選んでくだ さい。
両面印刷できない。	「用紙種類設定」で「両面 印刷の対象」が「対象外」 に設定されている。	「用紙種類設定」で「両面印刷の対 象」を「対象」に設定してください。 詳しくは、『初期設定編』「用紙設定」 を参照してください。
両面印刷できない。	用紙種類が [トレペ]、[薄 紙]、[特殊紙] に設定され ているときは、両面印刷で きません。	「用紙種類設定」でその他の用紙種類 を設定してください。詳しくは、『初 期設定編』「用紙設定」を参照してく ださい。

状態	原因	対処方法と参照先
両面印刷できない。	用紙サイズが[A2┏]、 [B3┏]に設定されている ときは、両面印刷できませ ん。	両面コピーできるサイズは A3p、 B4p、A4pp、B5pp、A5p、 11×17p、Legal (8 ¹ / ₂ ×14)p、 Letter (8 ¹ / ₂ ×11)ppなどです。両面 コピーできるサイズの用紙を選択し てください。詳しくは、『コピー機能 /ドキュメントボックス機能編』「各 機能の仕様補足」を参照してくださ い。
裏面にコピー画像の跡が付 き汚れる。	コピー後の用紙を、高温環 境下で本体トレイに 100 枚 以上積載し、長時間放置し ている。	コピー後の用紙を、高温環境下で本 体トレイに1時間以上放置する場合 は、積載枚数を100枚未満とするか、 コピー終了直後に本体トレイから取 り出し、用紙を揃えてください。

ドキュメントボックスについて

状態	原因	対処方法と参照先
画面に「蓄積中の文書が1 文書あたりのページ数の限 界に達しました。読み取っ た分までを1つの文書とし て蓄積しますか? [蓄積しない][蓄積する]」 と表示される。	読み取られた原稿が 1 文書 として蓄積できるページ数 を超えています。	 ・読み取った分までを1文書として蓄 積するときは、[蓄積する]を押し ます。読み取ったページまでが1文 書としてドキュメントボックスに 蓄積されます。 ・読み取った分も蓄積しないときは、 [蓄積しない]を押します。読み取っ た原稿はすべてクリアされます。 ・1文書に蓄積できる最大のページ数は、 A4 サイズで1000ページまでです。
[ドキュメントボックス] キーから文書を蓄積すると きに「他の機能で原稿読み 取り中です。」と表示され て、読み取りできない。	コピー機能やスキャナー機 能での操作が終了していま せん。	コピー機能やスキャナー機能での操作 を終了させてから蓄積してください。 [確認]を押したあと、[コピー]また は[スキャナー]キーを押して、コ ピー、スキャナーの画面を表示させま す。[クリア/ストップ]キーを押し、 「ストップキーが押されました。コ ピーを中止しますか?」または「ス トップキーが押されました。読み取り を中止しますか?」と表示されたら [中止]を押してください。
「このページはプレビューを 表示できません。」と表示さ れて、サムネール画像が確 認できない。	画像データのフォーマット が壊れている可能性があり ます。	[確認]を押すと、サムネール画像な しのプレビュー画面となります。
パスワードを忘れてしまった。	パスワードで保護されてい る文書はパスワードを入力 しないと、文書にアクセス できません。	管理者に確認してください。 ドキュメントボックスに蓄積された文 書を削除したい場合は「ドキュメント ボックス蓄積文書一括消去」が有効で す。ただし、すべての蓄積文書が削除 されますので、他に重要な文書が蓄積 されていないことを削除前に確認して ください。詳しくは、『初期設定編』 「管理者用設定」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
蓄積した文書がわからない。	文書名では内容が判断でき ない場合があります。	文書選択画面では [リスト] と [サム ネール] を切り替えて内容を確認でき ます。リスト表示には、文書名以外に 保存した日付、ユーザー名が表示され ます。サムネール表示では、蓄積され ている画像イメージがディスプレイに 表示されます。また、[プレビュー] を押すと、画像イメージをさらに拡大 して表示することも可能です。まず、 文書名以外の情報を確認してくださ い。詳しくは、『コピー機能/ドキュメ ントボックス機能編』「蓄積文書の詳 細を表示する」を参照してください。
頻繁にメモリーが不足する。	ドキュメントボックスのメ モリー容量がいっぱいに なっています。	不要になった文書を文書選択画面で選 択し、[文書消去] で削除してくださ い。それでもメモリーが不足するとき は、以下のことを実行してください。 スキャナー機能に切り替え、スキャナー から蓄積した文書を削除してください。 プリンター機能に切り替え、試し印刷、 機密印刷、保留印刷、または、保存印 刷で蓄積した文書を削除してください。
多部数を印刷する前に、仕 上がり具合を確認したい。	各種設定を繰り返さずに、 1 部だけ印刷できます。	「試しコピー」を利用すると、印刷順 や印刷条件をそのままに、1 部だけ先 行して印刷することができます。

● 補足

- カールした用紙を使用すると、紙づまりや用紙縁の汚れ、ステープル/スタック時の位置ずれなどが発生することがあります。カールした用紙を使用するときは、用紙をパラパラとほぐしてカールを直し、裏返してセットしてください。また、用紙がカールしないよう、立てかけずに平らなところに置いて保管してください。
- ・用紙の種類、用紙の状態、用紙のセット枚数などによっては、思いどおりの画像にならないときがあります。適切な用紙を使用してください。詳しくは、『本機のご利用にあたって』「用紙について」を参照してください。

E 参照

・『本機のご利用にあたって』「用紙について」

機能が実行されないとき

機能が実行されないときは、別の機能で使用中の可能性があります。

指定した機能が実行されないときは、使用中の機能を終了してから、ご希望の機能を実行 してください。機能の組み合わせによっては、使用中の機能を終了させることなく他の機 能(コピー、ドキュメントボックス、ファクス、プリンター、スキャナー)を実行するこ とができます。このように複数の機能を同時利用することを「マルチアクセス」といいます。 機能組み合わせ一覧

◎:同時処理が可能です。

●:機能キー押下、リモートの切り替え(スキャナー、外部拡張)で処理が可能になります。 ○:[割り込み]キーで前の機能を終了させると、処理が可能になります。

▲:前の処理が終了してから、自動的に処理されます。

×: 前の動作が終了してから、あらためて操作が必要です。(同時には操作/動作しない)

\smallsetminus		動作させたい機能		⊐Ľ-		割り込み	タコピー			ファ	クス			7	リンタ	-	スキ	ャナー	TWAIN	ドキュ	メントホ	ックス	WEB
								送		送信		受	信	デー	EI.	刷							おりえ
動作中の機能	*		操作	ステーブルコピー	通常コピー	操作	п Ψ-	信操 作	メモリー送信の原稿読み取り	メモリー送信	直接送信	メモリー受信	受信データでの印刷	-タ受信	通常印刷	ステーブル印刷	操作	読み取り	読み取り	操作	読み取り	印刷	印刷
コピー	操作	,	×	×	×	0	0	٠	•	0	٠	0	0	0	0	0	•	•	•	•	•	٠	0
	ステ	ーブルコピー	© *1	▲*1	▲ * 1	0	○*5	٠	•*2	0	•*2	0	0	0	0		٠	●*2	×	•	●*2	○*4	0*4
	通常	コピー	© *1	▲*1	▲ * 1	0	0	٠	●*2	0	●*2	0	0	0	0	0	٠	●*2	×	٠	●*2	0	0
割り込み	操作		0	0	0	×	×	×	×	0	×	0	0	0	0	0	×	×	0	×	×	×	0
38-	コピ	-	0	0	0	×	×	×	×	0	×	0		0			×	×	0	×	×	×	
ファクス	送信	操作	•	•	•	0	0	×	×	0	×	0	0	0	0	0	•	•	٠	•	•	٠	0
	送信	メモリー送信の原稿読み取り	×	×	×	×	×	×	×	0	×	0	0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	0
		メモリー送信	0	0	0	0	0	0	0	◎*3	◎*3	◎*3	©∗7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		直接送信	×	×	×	×	×	×	×	◎*3	×	◎*3	0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	0
	受信	メモリー受信	0	0	0	0	0	0	0	○*3	○*3	○*3	©∗7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		受信データでの印刷	0	0	0	0	0	0	0	◎*7	0	◎*7	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プリンター	$\vec{\tau}$ –	タ受信中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	•		0	0	0	0	0	0	0
	印刷	通常印刷中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		•	0	0	0	0	0	0	0
		ステープル印刷	0		0	0	○*5	0	0	0	0	0	0	0	•		0	0	0	0	0	0*4	○*4
スキャナー	操作		•	•	•	0	0	•	•	0	٠	0	0	0	0	0	×	×	•	•	•	•	0
	読み	取り	•	•*2	•*2	0*2	○*2	•	•*2	0	•*2	0	0	0	0	0	×	×	×	•	×	•	0
TWAIN	読み	取り	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0	0	0	×	×	×	×	×	0	0
ドキュメント	操作		•	•	٠	0	0	٠	•	0	•	0	0	0	0	0	٠	•	•	×	×	×	0
#77A	読み	取り	•	×	×	0	0	٠	×	0	×	0	0	0	0	0	٠	●*2	×	×	×	×	0
	印刷		•	0*4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	◎*6	◎*6	○*6	0
WEBドキュメントボックス	印刷		0	◎*4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

AUR002D

*1 前のコピー原稿読み取りが終了し、[予約]が表示されたときに有効です。

*2 前の機能の原稿読み取り動作が終了しているときに原稿読み取りが可能です。

*3 回線を増設し、動作中の機能で使用していない回線を使用する場合に動作可能です。

** ステープル使用中の場合は、前の印刷が終了してから自動的に印刷を開始します。

^{*5} ステープルは使用できません。

*6 [予約]を押すことにより可能です。

*7 受信が並行して行われているときは、その受信が終了するまであとからの機能は処理されません。

1

```
↓ 補足
```

- ・複数の機能で同時にステープルを使うことはできません。
- ・同時処理が可能な場合、どの機能を優先させるかは「印刷優先機能」で行います。工場 出荷時は「表示機能」に設定されています。印刷優先機能の設定については、『初期設定 編』「基本設定」を参照してください。
- ・オプションの本体上トレイ、フィニッシャーを装着した場合、機能ごとに排紙先を設定 することができます。各機能の排紙先の設定については、『初期設定編』「排紙先の設定 について」を参照してください。
- ・印刷動作中に他の機能で原稿読み取りを行った場合、原稿読み取り速度が遅くなる場合 があります。

E参照

- •『初期設定編』「基本設定」
- ・『初期設定編』「排紙先の設定について」

2. コピー機能がうまく使えないとき

コピー機能に関するトラブルの原因と対処方法を説明します。

メッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージに従って対処してください。

★ 重要

- ・サービスコール(1)のメッセージには、連絡先と機械番号が表示されますので、ご確認の上、サービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄の場合は、販売店に連絡してください。
- ・ここに記載されていないメッセージは、「本機の操作ができないとき」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
原稿サイズがわかりません。	サイズを読み取りにくい原 稿がセットされています。	サイズを読み取りにくい原稿のとき、 用紙の選択は[自動用紙選択]を使 わず[用紙選択]で、拡大/縮小コ ピーは[用紙指定変倍]以外の方法 で行ってください。詳しくは、『コ ピー機能 / ドキュメントボックス機 能編』「サイズを読み取りにくい原 稿」を参照してください。
原稿サイズがわかりません。	サイズを読み取りにくい原 稿がセットされています。	原稿ガラスにセットし直してくださ い。詳しくは、『コピー機能 / ドキュ メントボックス機能編』「原稿ガラス にセットする」、「サイズを読み取り にくい原稿」を参照してください。
原稿サイズがわかりません。	原稿がセットされていません。	原稿をセットしてください。
原稿の方向を確認してくだ さい。	原稿の方向が適切ではあり ません。	原稿の向きを変えてください。
用紙サイズを確認してくだ さい。	適切な用紙がありません。	[スタート] キーを押すと選択されて いる用紙にコピーされます。
この用紙サイズは回転ソー トできません。	回転ソートできない用紙を 選択しています。	回転ソート可能サイズの用紙を選択 してください。詳しくは、『コピー機 能 / ドキュメントボックス機能編』 「ソート」を参照してください。

2

メッセージ	原因	対処方法と参照先
この用紙サイズは両面コ ピーできません。	両面コピーできない用紙を 選択しています。	両面コピーできるサイズは A3D、 B4D、A4DD、B5DD、A5D、 11×17D、Legal (8 ¹ /2×14)D、 Letter (8 ¹ /2×11)DDなどです。両面 コピーできるサイズの用紙を選択し てください。詳しくは、『コピー機能 /ドキュメントボックス機能編』「各 機能の仕様補足」を参照してくださ い。
この用紙サイズはパンチで きません。	パンチできない用紙を選択 しています。	パンチできる用紙は A3D、B4D、 A4DD、B5DD、A5D、11×17D、 Legal (8 ¹ / ₂ ×14)D、 Letter (8 ¹ / ₂ ×11)DDなどです。パン チできるサイズの用紙を選択してく ださい。詳しくは、『コピー機能 / ド キュメントボックス機能編』「各機能 の仕様補足」を参照してください。
この用紙サイズはステープ ルできません。	ステープルできない用紙を 選択しています。	ステープル可能サイズの用紙を選択 してください。詳しくは、『コピー機 能 / ドキュメントボックス機能編』 「各機能の仕様補足」を参照してくだ さい。
ステープル可能枚数を超え ました。	ステープルできる枚数の上 限を超えています。	ステープル可能枚数内でコピーし直 してください。詳しくは、『コピー機 能 / ドキュメントボックス機能編』 「各機能の仕様補足」を参照してくだ さい。
コピー枚数は nn 枚までです。 (n には数字が入ります)	コピー枚数の上限を超えて います。	ー度にコピーする枚数の上限を変更 することができます。詳しくは、『初 期設定編』「基本コピー設定」を参照 してください。
蓄積中の文書が1文書あたり のページ数の限界に達しまし た。コピーを中止します。	読み取られた原稿が 1 文書 として蓄積できるページ数 を超えました。	[確認]を押し、原稿を蓄積可能ページ 数に調節してから蓄積してください。
異なる画質が混在のため週 刊誌・ミニ本できません。	コピー機能で読み取った文 書とプリンター機能で蓄積 した文書を混載して、週刊 誌・ミニ本機能を指定して います。	読み取り方法の異なるデータに対し て週刊誌・ミニ本機能は使用できま せんので、読み取り方法を一致させ てください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
この機能を利用する権限は ありません。	入力したユーザーコードに 機能を使う権限が設定され ていません。	管理者に確認してください。
この機能を利用する権限は ありません。	入力したユーザーコードに 機能を使う権限が設定され ていません。	メッセージが表示されたまま画面が 切り替わらないときは、[予熱] キー を押して画面が消えたのを確認し、 もう一度 [予熱] キーを押してくだ さい。ユーザーコードを入力する画 面にもどります。 コピー / プリンターからの印刷中は、 印刷が終わるまで待ってから、[予 熱] キーを押してください。
認証に失敗しました。	ログインユーザー名、また はログインパスワードが間 違っています。	ログインユーザー名、またはログイ ンパスワードを確認してください。
認証に失敗しました。	本機が認証できない状況に なっています。	管理者に確認してください。
選択された文書にアクセス 権のない文書が含まれてい ました。アクセス権のある 文書のみ消去されます。	削除する権限のない文書を 削除しようとしました。	文書作成者が削除することができま す。削除する権限のない文書を削除 したいときは、文書作成者に確認し てください。
他の機能で原稿読み取り中 です。おまちください。	ドキュメントボックス機 能、スキャナー機能での操 作が終了していません。	ドキュメントボックス機能、スキャ ナー機能での操作を終了させてくだ さい。[確認]を押したあと、[ド キュメントボックス]キーを押して、 画面を表示させます。[クリア/ス トップ]キーを押し、「ストップキー が押されました。読み取りを中止し ますか?」と表示されたら[中止] を押してください。
おまちください。	Network Monitor for Admin を使って、ネットワーク上 から宛先登録を実行してい ます。メッセージが表示さ れているときは、操作がで きません。登録する宛先の 数によっては、しばらく操 作できないことがありま す。	メッセージが消えるまでお待ちくだ さい。また、メッセージが表示され ている間は、主電源スイッチを 「Off」にしないでください。

₿ 参照

・P.15 「本機の操作ができないとき」

2

コピーがきれいにとれないとき

コピーがきれいにとれないときの原因と対処方法を説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
色スジが出る。	原稿ガラスが汚れています。	原稿ガラスの清掃を行ってください。 詳しくは、P:144 「清掃のしかた」を 参照してください。
地肌が汚れている。	コピー濃度が濃く設定され ています。	コピー濃度を調整してください。詳し くは、『コピー機能 / ドキュメント ボックス機能編』「コピー濃度調整」 を参照してください。
地肌が汚れている。	自動濃度が選択されていま せん。	自動濃度を選択してください。詳しく は、『コピー機能 / ドキュメントボッ クス機能編』「コピー濃度調整」を参 照してください。
かすれてコピーされる。	コピー濃度が薄く設定され ています。	コピー濃度を調整してください。詳し くは、『コピー機能 / ドキュメント ボックス機能編』「コピー濃度調整」 を参照してください。
かすれてコピーされる。	目の粗い用紙や表面が加工 されている用紙、湿気を含 んだ用紙にコピーするとか すれてコピーされることが あります。	当社推奨の用紙に替えてください。ま た、適度な温度、湿気で保管した用紙 を使用してください。詳しくは、『本 機のご利用にあたって』、「用紙につい て」を参照してください。
かすれてコピーされる。	トナーが少なくなっています。	トナーは早めに補給してください。ト ナーの補給方法については、P117 「トナーがなくなったとき」を参照し てください。
部分的に写らない箇所がある。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使 用してください。詳しくは、『本機の ご利用にあたって』「用紙について」 を参照してください。
原稿にないものがコピーさ れる。	原稿ガラスまたは自動原稿 送り装置(ADF)が汚れて います。	原稿ガラスまたは自動原稿送り装置 (ADF)を清掃してください。詳しく は、P:144「清掃のしかた」を参照し てください。
原稿にないものがコピーさ れる。	コピーした原稿や品質の悪 い原稿をセットしています。	[複写原稿]を選択して、コピーして ください。詳しくは、『コピー機能/ ドキュメントボックス機能編』「原稿 種類選択」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
原稿の裏面が透けてコピー される。	コピー濃度が濃く設定され ています。	コピー濃度を調整してください。詳し くは、『コピー機能 / ドキュメント ボックス機能編』「コピー濃度調整」 を参照してください。
原稿の裏面が透けてコピー される。	自動濃度が選択されていま せん。	自動濃度を選択してください。詳しく は、『コピー機能 / ドキュメントボッ クス機能編』「コピー濃度調整」を参 照してください。
はり合わせた部分に影が付く。	コピー濃度が濃く設定され ています。	コピー濃度を調整してください。詳し くは、『コピー機能 / ドキュメント ボックス機能編』「コピー濃度調整」 を参照してください。 原稿のセット方向を変えてください。 はり合わせた部分にメンディングテー プを使用してください。
画像が欠ける。	原稿のセット位置が間違っ ています。	原稿を正しくセットしてください。詳 しくは、『コピー機能 / ドキュメント ボックス機能編』「原稿のセット」を 参照してください。
画像が欠ける。	適切なサイズの用紙が選択 されていません。	適切なサイズの用紙を選択し直してく ださい。
白いスジが出る。	原稿ガラスが汚れています。	原稿ガラスの清掃を行ってください。 詳しくは、P:144 「清掃のしかた」を 参照してください。
白いスジが出る。	歯が点滅しているときは、ト ナーが少なくなっています。	トナーは早めに補給してください。ト ナーの補給方法については、P.117 「トナーがなくなったとき」を参照し てください。
コピーされない。	原稿のセット面が間違って います。	原稿ガラスにセットするときはコピー する面を下に、自動原稿送り装置 (ADF) にセットするときはコピーす る面を上にします。詳しくは、『コ ピー機能 / ドキュメントボックス機能 編』「原稿のセット」を参照してくだ さい。
モアレが発生している。 R ゆ R	モアレの発生しやすい向きに 原稿がセットされています。	モアレとは、画像を処理するときに規 則正しく配列された網点、または線が 重なりあって発生する縞模様(干渉縞) のことです。原稿のセット方向をかえ るとモアレを防げることがあります。

状態	原因	対処方法と参照先
原稿が印画紙写真(プリント /現像された写真)のとき、 黒い斑点がコピーされる。	湿度が高く、印画紙写真が 原稿ガラスに貼りついてい ます。	以下のどちらかの方法で、印画紙写真 をセットし直してください。 ・OHP フィルムを原稿ガラスに置き、 その上に印画紙写真をセットする。 ・原稿ガラスにセットした印画紙写 真の上に白紙を 2-3 枚重ねる。この ときは、原稿カバー/自動原稿送り 装置 (ADF) は閉じないでください。
コピーにしわが出る。	用紙に湿気が含まれまてい ます。	 ・新しい用紙に交換してください。 ・用紙が湿吸しないように、除湿ヒータースイッチを「On」にしてください。詳しくは、『本機のご利用にあたって』「本体各部の名称とはたらき」を参照してください。

思いどおりにコピーできないとき

思いどおりのコピー結果が得られないときの原因と対処方法を説明します。

基本機能

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	セットされている用紙が多 すぎます。	給紙トレイ内または手差しトレイのサ イドフェンスに示されている上限表示 の線を超えないように用紙を入れてく ださい。詳しくは、P103 「用紙がな くなったとき」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	サイドフェンスがきつく セットされています。	サイドフェンスを軽く突き当て直してく ださい。また、給紙トレイへの厚紙の セット枚数は 20 枚以上を推奨します。
何度も用紙がつまる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使 用してください。詳しくは、『本機の ご利用にあたって』「用紙について」 を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙が厚すぎるか、薄すぎ ます。	当社推奨の用紙を使用してください。 詳しくは、『本機のご利用にあたって』 「用紙について」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に折り目やシワがあり ます。	当社推奨の用紙を使用してください。 また、適度な温度、湿度で保管した用 紙を使用してください。詳しくは、 『本機のご利用にあたって』「用紙につ いて」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	一度印刷した用紙を使用し ています。	当社推奨の用紙を使用してください。 一度コピーまたは印字された用紙は再 使用しないでください。詳しくは、 『本機のご利用にあたって』「用紙につ いて」を参照してください。
用紙にシワがよる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使 用してください。詳しくは、『本機の ご利用にあたって』「用紙について」 を参照してください。
用紙にシワがよる。	用紙が薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。 詳しくは、『本機のご利用にあたって』 「用紙について」を参照してください。
ステープルされない。	ステープラーの針がつまっ ています。	つまっている針を取り除いてくださ い。詳しくは、P134 「ステープラー の針がつまったとき」を参照してくだ さい。

状態	原因	対処方法と参照先
ステープルされない。	ステープラーカートリッジ が正しくセットされていま せん。	ステープラーカートリッジを正しく セットしてください。詳しくは、 P122 「ステープラーの針がなくなっ たとき」を参照してください。
ステープルされない。	ステープルできる枚数を超 えています。	ステープル可能枚数内でコピーし直し てください。詳しくは、『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「各機 能の仕様補足」を参照してください。
ステープルされない。	紙がカールしています。	用紙を裏返してセットしてください。
パンチされない。	パンチくずが満杯になって います。	パンチくずを取り除いてください。詳 しくは、P:135 「パンチくずがいっぱ いになったとき」を参照してください。
ステープルの位置が違う。	原稿のセット方向と選択し たステープルの位置が合っ ていません。	原稿のセット方向を確認してくださ い。詳しくは、『コピー機能 / ドキュ メントボックス機能編』「ステープル」 を参照してください。
複数のコピー機能を設定し たとき、設定されない機能 がある。	組み合わせることのできな いコピー機能を設定してい ます。	コピー機能の組み合わせを確認し、設 定し直してください。詳しくは、『コ ピー機能 / ドキュメントボックス機能 編』「機能組み合わせ一覧」を参照し てください。
ページが分割されてソート される。	途中でメモリーがいっぱい になり、分割して排出しま した。	メモリーがいっぱいになった時点でコ ピーを中断するようにできます。詳し くは、『初期設定編』「周辺設定」を参 照してください。
ステープル印刷時に用紙が 排紙されない。	ステープル印刷の途中で印 刷を中止したとき、印刷途 中でステープルされなかっ た用紙がステープルユニッ トに残ることがあります。	[リセット] キーを押し、ステープルを含 む前のコピー設定を解除してください。 ステープルユニットに残った用紙は、 コピーの場合は手動で取り除く必要が あります。
画像が斜めに印刷される。	給紙トレイのサイドフェン スが正しくセットされてい ません。	サイドフェンスが正しくセットされてい るか確認してください。さらに、トレイ 3から5の場合は、サイド固定レバーが ロックされているかどうかも確認してく ださい。詳しくは、P.111 「用紙サイズ を変更するとき」を参照してください。
画像が斜めに印刷される。	用紙が斜めに搬送されてい ます。	用紙を正しくセットし直してくださ い。詳しくは、P.103 「用紙がなく なったとき」を参照してください。

編集

状態	原因	対処方法と参照先
ダブルコピーしたとき、画 像が欠ける。	原稿と用紙サイズの組み合 わせが間違っています。	A3Dの原稿は A2D、A4Dの原稿は A3D、A5 の原稿は A4 の用紙にコ ピーしてください(等倍のとき)。
消去(枠 / センター / セン ター・枠)したとき、画像 が欠ける。	消去幅の値を大きく設定し ています。	消去幅の値を小さく設定し直してくだ さい。2-99mm の範囲で設定できま す。詳しくは、『初期設定編』「基本編 集設定」を参照してください。
消去(枠 / センター / セン ター・枠)したとき、画像 が欠ける。	原稿サイズが正しく読み取 られていません。	正しく原稿をセットしてください。
とじしろで画像が欠ける。	とじしろ幅の値を大きく設 定しています。	とじしろ幅の値を小さく設定し直して ください。0-30mm の範囲で設定でき ます。 詳しくは、『初期設定編』「基本編集設 定」を参照してください。
とじしろで画像が欠ける。	原稿のとじ位置の反対側の 余白が不足しています。	とじしろ幅の値を小さく設定し直して ください。0-30mm の範囲で設定でき ます。 詳しくは、『初期設定編』「基本編集設 定」を参照してください。
リピートされない。	原稿と同じサイズの用紙を 選択しているか、変倍率を 設定していません。	原稿より大きいサイズの用紙を選択し てください。または、変倍率を設定し てください。

印字

状態	原因	対処方法と参照先
思いどおりの位置に印字さ	原稿のセット方向が違って	原稿セット方向と印字位置を設定し直
れない。	います。	してください。

集約

状態	原因	対処方法と参照先
「ミニ本」「週刊誌」を折っ ても本のようにならない。	左へひらく、右へひらくの設 定が原稿と合っていません。	設定を変更してください。詳しくは、 『初期設定編』「基本編集設定」を参照 してください。
集約時、画像が欠ける、ま たは余白ができる。	原稿サイズと拡大/縮小率 と用紙の組み合わせが間 違っています。	用紙指定変倍すると原稿とコピーする 用紙に合った倍率でコピーします。 (変倍率を選択してから集約を設定し、 コピーすることもできます。)
順番どおりにコピーされない。	原稿をセットする順番が間 違っています。	自動原稿送り装置(ADF)にセットす るとき、原稿の先頭ページが一番上に なるようにセットしてください。 原稿ガラスにセットするとき、原稿は先 頭ページから順にセットしてください。

両面

状態	原因	対処方法と参照先
両面印刷ができない。	手差しトレイに用紙をセッ トしています。	両面印刷を行う場合は、手差しトレイ 以外の給紙トレイにセットした用紙を 給紙するよう指定し直してください。
両面印刷ができない。	105g/m ² を超える厚紙を セットしています。	印刷する用紙を変更してください。
両面印刷ができない。	システム初期設定の用紙設 定で「両面印刷の対象」を 「対象外」に設定したトレ イを選択しています。	システム初期設定の用紙設定で「両面 印刷の対象」を「対象」に設定し直し てください。詳しくは、『初期設定編』 「用紙設定」を参照してください。
順番どおりにコピーされない。	原稿をセットする順番が間 違っています。	自動原稿送り装置(ADF)にセットす るとき、原稿の先頭ページが一番上に なるようにセットしてください。 原稿ガラスにセットするとき、原稿は先 頭ページから順にセットしてください。
両面時、「左右ひらき」を選 択したのに上下開きでコ ピーされる。または「上下 ひらき」を選択したのに左 右開きでコピーされる。	原稿のセット方向が間違っ ています。	原稿のセット方向を正しく設定してく ださい。詳しくは、『コピー機能 / ド キュメントボックス機能編』「原稿の セット方向」を参照してください。
メモリーがいっぱいになったとき

メモリーがいっぱいになったときの原因と対処方法について説明します。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
メモリが一杯になりました。 nn ページ目まで読み取りま した。 [印刷] キーを押すと読み 取った原稿をコピーします。 残った原稿はそのままにし てください。 (n には数字が入ります)	読み取られた原稿がメモ リーに蓄積できる枚数を超 えました。	 読み取ったページまでのコピーを 排出させるときは、[出力]を押し ます。読み取ったページまでコピー が排出され、メモリー内の画像はク リアされます。 読み取った原稿の画像をクリアし、 コピーを中止するときは、[メモ リー消去]を押します。
残った原稿のコピーを再開 します。 [継続]を押してください。	読み取ったページまでのコ ピーが排出されたので、残 りの原稿のコピーを継続す るか確認されました。	 ・残りの原稿の読み込みを再開する ときは、必ずコピーを取り除いてか ら、[継続]を押します。 ・残りの原稿の読み込みを中止する ときは、[中止]を押します。

↓ 補足

「ソート全数読み取り設定」が「する」に設定されているときは、メッセージは表示されず、メモリーがいっぱいになったときも自動的に読み取ったページまでコピーを排出させ、継続して残った原稿を読み取りコピーを仕上げます。ただし、ページ順が分かれて仕上がります。ソート全数読み取り設定については、『初期設定編』「周辺設定」を参照してください。

E 参照

•『初期設定編』「周辺設定」

ファクス機能がうまく使えない とき

ファクス機能がうまく使えないときの原因と対処方法について説明します。

音量を調節したいとき

音量を調節する方法について説明します。 オンフックや直接送信時に本体内部のスピーカーから聞こえるモニターやブザーの音量を 調節します。 調節できる音は次のとおりです。

◆ オンフック時

[オンフック] キーを押したときに聞こえる音です。

- ◆ 送信時 直接送信するときに聞こえる音です。
- ◆ 受信時 受信するときに聞こえる音です。
- ◆発信時 [スタート] キーを押してから相手先のファクスにつながる間に聞こえる音です。
- ♦ 受信印刷時

受信文書の印刷が終了したときに鳴るブザーの音です。

✔ [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。



37





3

3 [基本設定] の画面が表示されていることを確認します。

4 [音量調節] を押します。



5 [小さく] または [大きく] を押して音量を調節し、[設定] を押します。

【 🖪 ファクス初期				終了
音量調節			取消	股定
音量を調節し、[設定]:	テーを押してください。			
▶オンフック時	小さく 0	, [大きく	確認
▶送信時	小さく 🙀	····; [大きく	確認
▶受信時	小さく <u>、 ▼</u>	····-, [大きく	確認
▶発信時	小さく 🛄 🌹	····; [大きく	確認
▶受信印刷時	小さく , ず	····; [大きく	確認
	j72	えば「「「」」 ジョラー 賢	I.	2006/10/30 15:09

「初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。 ファクス初期画面に戻ります。

● 補足

- ・オンフック時の音量は、[オンフック] キーを押したときにも調節できます。詳しくは、 『ファクス機能編』「オンフックダイヤル(オンフックを使った送信)」を参照してください。
- ハンドセットのベル音量も調節できます。詳しくは、『初期設定編』「ハンドセットを設 定する」を参照してください。
- ・音量調節の画面で、[確認]を押すと、実際に音を確認できます。
- ・音量調節の画面で、[取消]を押すと、設定を取り消して手順4の画面に戻ります。
- ・音量は7段階で調節できます。

E 参照

- ・『初期設定編』「ハンドセットを設定する」
- ・『ファクス機能編』「オンフックダイヤル(オンフックを使った送信)」

メッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージに従って対処してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
エラーが発生したため、 送信を中止しました。	 ・直接送信中に原稿が つまりました。 ・本機の不具合や電話 回線の影響(雑音、混 線)などが考えられ ます。 	[確認]を押し、送信し直してください。何回も 続けてエラーになるときはサービス実施店に連 絡してください。
原稿を戻し確認した 後、スタートキーを押 してください。	メモリー送信中に原稿 がつまったため、読み 取りが中断されました。	読み取りが終了していないページ(つまった ページ)をセットし直してください。
原稿サイズがわかりま せん。 読み取りサイズを選択 し、もう一度スタート キーを押してください。	セットされている原稿 のサイズを自動的に読 み取ることができませ んでした。	送信する原稿をセットし直して、もう一度[ス タート]キーを押してください。
[大サイズ原稿指定] キーが選択されていま す。原稿は原稿ガラス にセットしてください。	[大サイズ原稿指定] が選択されています。	[大サイズ原稿指定] を選択しているときは、原稿は ADF から読み取ることはできません。原稿 ガラスにセットしてください。
ファクス機能にエラー が発生しました。デー タを初期化します。	ファクス機能が故障し ています。	サービス実施店に連絡してください。このとき に画面に表示された番号もお知らせください。 サービス担当者が修理にお伺いいたします。そ の他の機能は通常どおり使えます。
本体トレイから用紙を 取り除いてください。	本体トレイに用紙がいっ ぱいになっています。	本体トレイの用紙を取り除いてください。他の トレイがいっぱいのときはトレイの名称が変わ ります。 表示された排紙トレイから用紙を取り除いてく ださい。
他の機能で原稿読み取 り中です。下記の機能 に切り替え、読み取り を中止する場合はス トップキー、継続する 場合はスタートキーを 押してください。	他の機能で原稿を読み 取っています。	他の機能を終了させてから送信し直してください。 [確認]を押したあと、[コピー]キーまたは [ドキュメントボックス]キーを押して、操作が 中断されている機能を探します。コピーまたは ドキュメントボックスの画面で [クリア/ス トップ]キーを押し、「ストップキーが押されま した。コピーを中止しますか?」または「ス トップキーが押されました。読み取りを中止し ますか?」と表示されたら [中止]を押してく ださい。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
宛先表を更新していま す。しばらくおまちく ださい。 すでに宛先/送信者名 が選択されていた場合 は、この表示が消えた 後に選択しなおしてく ださい。	Network Monitor for Admin または Web Image Monitor を使っ て、ネットワーク上か ら宛先登録を実行して います。メッセージが 表示されているとき は、操作ができませ ん。登録する宛先の数 によっては、しばらく 操作できないことがあ ります。	メッセージが消えるまでお待ちください。また、 メッセージが表示されている間は、主電源ス イッチを「Off」にしないでください。
選択された文書にアク セス権のない文書が含 まれていました。アク セス権のある文書のみ 消去されます。	削除する権限のない文 書を削除しようとしま した。	文書管理者が削除することができます。削除す る権限のない文書を削除したいときは、文書管 理者にご確認ください。
LDAP サーバーとの接 続に失敗しました。 LDAP サーバーの動作 状況や接続を確認して ください。	LDAP サーバーへの接続 時にネットワーク上の エラーが発生しました。	もう一度接続し直しても同じメッセージが表示 されるときは、ネットワークの混雑が原因とし て考えられます。 または、システム初期設定の設定情報を確認し てください。詳しくは、『初期設定編』「システ ム初期設定」を参照してください。
LDAP サーバーとの認 証に失敗しました。 設定内容を確認してく ださい。	ユーザー名、パスワー ドが LDAP 認証で設定 したものと異なってい ます。	管理者に確認してください。
検索結果が表示可能な 件数を超えました。 一度に表示できる検索 結果は nnn 件までです。 (n には数字が入ります。)	検索結果が表示可能な 件数を超えています。	検索条件を変えてから、再度検索してください。
指定時間内に検索でき ませんでした。 LDAP サーバーの動作 状況や接続を確認して ください。	LDAP サーバーへの接続 時にネットワーク上の エラーが発生しました。	もう一度接続し直しても同じメッセージが表示 されるときは、ネットワークの混雑が原因とし て考えられます。 または、システム初期設定の設定情報を確認し てください。詳しくは、『初期設定編』「システ ム初期設定」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
指定したグループには アクセス権がない宛先 が含まれています。 グループに登録されてい るアクセス権のある宛先 のみ選択しますか?	グループにメール送信の 宛先とファイル送信の宛 先が混在しています。	メール送信の宛先を選択したい場合は、メール 送信画面で表示された警告に対し[選択]を選 択してください。ファイル送信の宛先を選択し たい場合、ファイル送信画面で、表示された警 告に対し[選択]を選択してください。
指定したパスは見つか りません。 設定内容を確認してく ださい。	送信先のコンピューター 名またはフォルダー名が 間違っています。	送信先のコンピューター名またはフォルダー名 が正しいかを確認してください。
送信者が指定されてい ません。 送信者を指定してくだ さい。	-	メール送信をするには、送信者の指定が必要です。 送信者を指定してから送信してください。
メールアドレスの形式 が正しくありません。 もう一度入力し直して ください。	入力したメールアドレ スが間違っています。	相手先のメールアドレスを確認して、再度入力 してください。
この機能を利用する権 限はありません。	機能を使う権限が設定 されています。	管理者に確認してください。
認証に失敗しました。	ログインユーザー名ま たはログインパスワー ドが間違っています。	ログインユーザー名またはログインパスワード を確認してください。
認証に失敗しました。	実機が認証できない状 況になっています。	管理者に確認してください。
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [13-10]	指定したエイリアス電 話番号は、ほかの通信 端末によって、すでに ゲートキーパーに登録 されています。	 Web Image Monitorからエイリアス電話番号が 正しく登録されているか確認してください。 確認方法はWeb Image Monitorのヘルプを参照 してください。 ネットワーク管理者に確認してください。
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [13-11]	ゲートキーパーにアク セスできません。	 Web Image Monitorからゲートキーパーアドレ スが正しく登録されているか確認してください。確認方法は Web Image Monitor のヘルプを 参照してください。 ネットワーク管理者に確認してください。
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [13-17]	SIP サーバーがユー ザー名登録を拒否しま した。	 Web Image MonitorからSIPサーバーアドレス、 ユーザー名が正しく登録されているか確認し てください。確認方法は Web Image Monitor の ヘルプを参照してください。 ネットワーク管理者に確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [13-18]	SIP サーバーにアクセ スできません。	 Web Image Monitor から SIP サーバーアドレス が正しく登録されているか確認してください。確認方法は Web Image Monitor のヘルプを 参照してください。 ネットワーク管理者に確認してください。
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [14-01]	DNS サーバー、SMTP サーバーまたは転送先 のフォルダーが見つか りません。	 Web Image Monitor から DNS サーバーが正し く登録されているか確認してください。確認 方法はWeb Image Monitorのヘルプを参照して ください。 Web Image Monitor から SMTP サーバーのホス ト名および IPv4 アドレスが正しく登録されて いるか確認してください。確認方法は Web Image Monitor のヘルプを参照してください。 Web Image Monitor から SMTP サーバーのホス ト名または IPv4 アドレスが正しく登録されて いるか確認してください。Web Image Monitor のヘルプを参照してください。 Web Image Monitor から SMTP サーバーが正し く登録されているか確認してください。 Web Image Monitor から SMTP サーバーが正し く登録されているか確認してください。確認 方法はWeb Image Monitorのヘルプを参照して ください。 転送先フォルダー指定が正しく設定されて いるか確認してください。 転送先フォルダーのパソコンが正常に動作し ているか確認してください。 LAN ケーブルが正しく接続されているか確認 してください。 ネットワーク管理者に確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [14-09]	SMTP 認証、POP before SMTP 認証、または転送 先フォルダーのパソコ ンへのログイン認証が できません。	 「システム初期設定」の「ファイル転送」から SMTP認証またはPOP before SMTP認証のユー ザー名、パスワードが正しく登録されている か確認してください。詳しくは、『初期設定編』 「ファイル転送設定」を参照してください。な お、Web Image Monitor から確認することもで きます。確認方法は Web Image Monitor のヘル プを参照してください。 「システム初期設定」の「ファイル転送設定」 からメールアカウントのユーザー名とパス ワードが正しく登録されているか確認してく ださい。詳しくは、『初期設定編』「ファイル 転送設定」を参照してください。なお、Web Image Monitor から確認することもできます。 確認方法はWeb Image Monitorのヘルプを参照 してください。 転送先フォルダーのパソコンへのログイン用 ユーザ ID とパスワードが正しく設定されてい るか確認してください。 転送先フォルダーのパソコンが正常に動作し ているか確認してください。 マットワーク管理者に確認してください。
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [14-33]	メールアカウントの メールアドレスおよび 管理メールアドレスが 未登録です。	 ・「システム初期設定」の「ファイル転送設定」 からメールアカウントのメールアドレスが正 しく登録されているか確認してください。詳 しくは、『初期設定編』「ファイル転送設定」を 参照してください。なお、Web Image Monitor から確認することもできます。確認方法はWeb Image Monitor のヘルプを参照してください。 ・ネットワーク管理者に確認してください。
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [15-01]	POP3(IMAP4)サー バーのアドレスが未登 録です。	 Web Image Monitor から POP3 (IMAP4) サー バーのホスト名または IPv4 アドレスが正しく 登録されているか確認してください。確認方 法はWeb Image Monitorのヘルプを参照してく ださい。 ネットワーク管理者に確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [15-02]	POP3(IMAP4)サーバー にログインできません。	 ・「システム初期設定」の「ファイル転送設定」 からメールアカウントのユーザー名、パス ワードが正しく登録されているか確認してく ださい。詳しくは、『初期設定編』「ファイル 転送設定」を参照してください。なお、Web Image Monitor から確認することもできます。 確認方法はWeb Image Monitorのヘルプを参照 してください。 ・ネットワーク管理者に確認してください。
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [15-03]	メールアカウントの メールアドレスが未登 録です。	 「システム初期設定」の「ファイル転送設定」 からメールアカウントのメールアドレスが正 しく登録されているが確認してください。詳 しくは、『初期設定編』「ファイル転送設定」を 参照してください。なお、Web Image Monitor から確認することもできます。確認方法はWeb Image Monitor のヘルプを参照してください。
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [15-11]	DNS サーバーまたは POP3 (IMAP4) サーバー が見つかりません。	 Web Image Monitor から DNS サーバーの IPv4 アドレスが正しく登録されているか確認して ください。確認方法は Web Image Monitor のへ ルプを参照してください。 Web Image Monitor から DNS サーバーが正し く登録されているか確認してください。確認 方法はWeb Image Monitorのヘルプを参照して ください。 Web Image Monitor から POP3 (IMAP4) サー バーのホスト名または IPv4 アドレスが正しく 登録されているか確認してください。確認方 法はWeb Image Monitorのヘルプを参照してく ださい。 Web Image Monitor から POP3 (IMAP4) サー バーが正しく登録されているか確認してください。確認方 法はWeb Image Monitorのヘルプを参照してく ださい。 Web Image Monitor から POP3 (IMAP4) サー バーが正しく登録されているか確認してくだ さい。確認方法は Web Image Monitor のヘルプ を参照してください。 LAN ケーブルが正しく接続されているか確認 してください。 ネットワーク管理者に確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ネットワークに問題がな いか確認してください。 [15-12]	POP3(IMAP4)サーバー にログインできません。	 「システム初期設定」の「ファイル転送設定」 からメールアカウントのユーザー名、パス ワードが正しく登録されているか確認してく ださい。詳しくは、『初期設定編』「ファイル 転送設定」を参照してください。なお、Web Image Monitor から確認することもできます。 確認方法はWeb Image Monitorのヘルプを参照 してください。 「システム初期設定」の「ファイル転送設定」 から POP before SMTP 認証のアカウント名と パスワードが正しく登録されているか確認し てください。詳しくは、『初期設定編』「ファ イル転送設定」を参照してください。なお、 Web Image Monitorから確認することもできま す。確認方法は Web Image Monitor のヘルプを 参照してください。 ネットワーク管理者に確認してください。

◆ 補足

- 「ネットワークに問題がないか確認してください。」というメッセージが表示されているときは、ネットワークに正しく接続されていないか、または本機の設定が正しくありません。ネットワークに接続する必要がないときは、メッセージを表示させないようにすることができます。この設定をすると[ファクス]キーの点灯も消えます。詳しくは、『初期設定編』「パラメーター設定」を参照してください。ネットワークに接続するときには、ネットワークの接続状況を確認するため、必ず設定を「表示する」に戻してください。
- ・いずれかの給紙トレイに用紙がなくなると、画面に「用紙がなくなりました。用紙を補給してください。」のメッセージが表示されます。給紙トレイに用紙を補給してください。他の給紙トレイに用紙があるときは、メッセージが表示されていても通常どおりの受信ができます。このメッセージを表示するかどうかは、「パラメーター設定」で設定できます。工場出荷時は「Off(しない)」に設定されています。詳しくは、『初期設定編』「パラメーター設定」を参照してください。

E 参照

・『初期設定編』「パラメーター設定」

思いどおりに送信・受信できないとき

思いどおりに送信・受信できないときの原因と対処方法を説明します。

送信・受信

状態	原因	対処方法と参照先
送信・受信ともにできない。	モジュラーコードが外れて いる可能性があります。	モジュラーコードの接続を確認してく ださい。詳しくは、『初期設定編』「電 話回線および電話機との接続」を参照 してださい。
送信・受信ともにできない。	ISDN 接続の TA(ターミナル アダプター)の設定が間違っ ています。	設定を確認してください。

送信

状態	原因	対処方法と参照先
白紙で送信される。	原稿をセットする面が間 違っています。	正しくセットし直してください。詳し くは、『ファクス機能編』「原稿をセッ トする」を参照してください。
受信できるが送信できない。	ISDN 接続の TA(ターミナル アダプター)の設定が間違っ ています。	設定を確認してください。
メールサイズオーバーで送 信できない。	本機に設定してあるメールサ イズの上限を超えた容量のイ ンターネットファクスを送信 することはできません。	「ファクス初期設定」の「送信メール サイズ制限」を「しない」に設定する か、上限サイズの値を増やしてから送 信し直してください。詳しくは、『初 期設定編』「送信設定」を参照してく ださい。
オンフックダイヤルまたは マニュアルダイヤルを使っ ているとき、「受信中」と表 示されて送信できない。	本機は [スタート] キーを 押したときに、原稿サイズ を検知できないと、受信の 動作を行います。	[読み取りサイズ]を押して、原稿の 読み取りサイズを指定して送信し直し てください。また、オンフックダイヤ ルまたはマニュアルダイヤルを使うこ とが多いときは、「パラメーター設定」 の「手動受信やファクス情報サービス を利用するとき、[スタート]キーを 押して、受信するかどうか」を「受信 しない」に設定することをお勧めしま す。ただし、手動受信やファクス情報 サービスを利用するとき [スタート] キーを押して受信することはできませ ん。詳しくは、『初期設定編』「パラ メーター設定」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
PC FAX ドライバーから送信 できない。	ログインユーザー名、ログ インパスワードまたはドラ イバー暗号鍵が間違ってい ます。	ログインユーザー名、ログインパス ワードまたはドライバー暗号鍵を確認 してください。管理者に確認してくだ さい。
PC FAX ドライバーから送信 できない。	セキュリティ強化機能で高 度な暗号化が設定されてい ます。	管理者に確認してください。
メモリー送信を取り消す。	-	読み取り中に取り消すときは [クリア / ストップ] キーまたは [読み取り中 止] を押します。詳しくは、『ファク ス機能編』「送信を取り消す」を参照 してください。
メモリー送信を取り消す。	-	送信中または送信待機中に取り消すと きは、[クリア/ストップ] キーまた は[送信文書確認/中止]を押しま す。詳しくは、『ファクス機能編』「送 信を取り消す」を参照してください。
送信中の直接送信を取り消す。	-	[クリア/ストップ] キーを押します。 詳しくは、『ファクス機能編』「送信を 取り消す」を参照してください。
以下の宛先にグループを指定 したが、指定先に届かない。 F コード中継ボックスの受 信局、メモリー転送の転送 先、特定相手先メモリー転 送の転送先、受信文書設定 の通知先、送信結果メール 通知の通知先、SMTP 受信 したメールの配信	グループでまとめて指定で きる件数の上限を超えてい ます。	グループでまとめて指定できる件数は 最大 500 件です。それ以上登録されて いないか宛先表で確認してください。 グループをさらに別のグループに登録 した場合と中継ボックスの1から5に 指定する場合は、指定時にエラー表示 されませんが、送信されません。詳し くは、『初期設定編』「宛先をグループ に登録する」を参照してください。

受信

状態	原因	対処方法と参照先
受信した文書が用紙に印刷 されない。	代行受信ランプが点灯して います。用紙切れやトナー 切れなどの原因で印刷でき ない状態になっています。	・用紙を補給してください。 ・トナーは早めに補給してください。 詳しくは、『ファクス機能編』「代行受 信」を参照してください。
受信した文書が用紙に印刷 されない。	受信文書設定が「蓄積する」 になっています。	Web Image Monitor から印刷するか、 本機の「蓄積文書印刷」で印刷してく ださい。詳しくは、『ファクス機能編』 「蓄積受信文書を印刷する」、「Web Image Monitor からファクス受信情報 を印刷する」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
受信した文書が用紙に印刷 されない。	用紙切れランプが点灯して います。	用紙を補給してください。用紙の補給 方法については、P103 「用紙がなく なったとき」を参照してください。
送信できるが受信できない。	NTT とナンバー・ディスプ レイの契約をしていると、 受信モードがファクスモー ドまたはファクス優先モー ドのときは、ファクスを受 信できません。	受信モードを手動受信または電話優先 モードに設定し、受信の操作をしてく ださい。詳しくは、『ファクス機能編』 「受信の種類」、『初期設定編』「受信設 定」を参照してください。
送信できるが受信できない。	ISDN 接続の TA(ターミナ ルアダプター)の設定が間 違っています。	設定を確認してください。

印刷

状態	原因	対処方法と参照先
画像が斜めに印刷される。	給紙トレイのサイドフェン スがロックされていません。	サイドフェンスがロックされているか 確認してください。詳しくは、P111 「用紙サイズを変更するとき」を参照 してください。
画像が斜めに印刷される。	用紙が斜めに搬送されてい ます。	用紙を正しくセットし直してくださ い。詳しくは、P:103 「用紙がなく なったとき」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	セットされている用紙が多 すぎます。	給紙トレイ内または手差しトレイのサ イドフェンスに示されている上限表示 の線を超えないように用紙を入れてく ださい。詳しくは、『本機のご利用に あたって』「用紙について」を参照し てください。
何度も用紙がつまる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使 用してください。詳しくは、『本機の ご利用にあたって』「用紙について」 を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙が厚すぎるか、薄すぎ ます。	当社推奨の用紙を使用してください。 詳しくは、『本機のご利用にあたって』 「用紙について」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に折り目やシワがあり ます。	当社推奨の用紙を使用してください。 また、適度な温度、湿度で保管した用 紙を使用してください。詳しくは、 『本機のご利用にあたって』「用紙につ いて」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
読み取りサイズを[自動検 知]に設定したときに、サ イズの違う原稿を送信する と、自動原稿送り装置 (ADF)に原稿がつまる。	[自動検知]でサイズの違 う原稿を送信すると原稿が つまるときがあります。	[サイズ混載]を指定して送信してく ださい。詳しくは、『ファクス機能編』 「読み取りサイズを設定する」を参照 してください。
用紙にシワがよる。	一度印刷した用紙を使用し ています。	当社推奨の用紙を使用してください。 詳しくは、『本機のご利用にあたって』 「用紙について」を参照してください。
用紙にシワがよる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使 用してください。詳しくは、『本機の ご利用にあたって』「用紙について」 を参照してください。
用紙にシワがよる。	用紙が薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。 詳しくは、『本機のご利用にあたって』 「用紙について」を参照してください。
受信紙の画像が部分的に抜 ける。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使 用してください。詳しくは、『本機の ご利用にあたって』「用紙について」 を参照してください。
相手先の受信紙に黒スジが 出る。	原稿ガラスが汚れています。	原稿ガラスの清掃を行ってください。 詳しくは、P:144 「清掃のしかた」を 参照してください。
相手先の受信紙の白い地肌 部分が黒っぽく汚れる。原 稿の裏面の画像が透ける。	印刷の濃度が濃く設定され ています。	濃度を薄くします。詳しくは、『ファ クス機能編』「濃度を調整する」を参 照してください。
原稿にないものが送信また は印刷される。	自動原稿送り装置(ADF) または原稿ガラスが汚れて います。	汚れている部分を清掃してください。詳 しくは、P.144 「清掃のしかた」を参照 してください。修正液やインクなどが完 全に乾いた原稿をセットしてください。
受信紙の画像がかすれている。	目の粗い用紙や表面が加工さ れている用紙、湿気を含んだ 用紙を使用するとかすれて印 刷されることがあります。	当社推奨の用紙を使用してください。 詳しくは、『本機のご利用にあたって』 「用紙について」を参照してください。
受信紙の画像がかすれている。	ぬが点滅しているときは、ト ナーが少なくなっています。	トナーは早めに補給してください。ト ナーの補給方法については、P.117 「トナーがなくなったとき」を参照し てください。
受信紙の画像がかすれている。	 ・印刷の濃度が薄く設定されています。 ・相手先の用紙が薄すぎます。 	 ・原稿を読み取る濃度を濃く設定してください。詳しくは、『ファクス機能編』「濃度を調整する」を参照してください。 ・厚い用紙で送信してもらうようにしてください。

状態	原因	対処方法と参照先	
メモリーに蓄積されている 文書(メモリー送信/受信、 封筒受信、代行受信、その 他の待機文書など)が消去 されている。	主電源スイッチが「Off」の 状態が1時間以上続くと、 メモリーに蓄積されている 文書はすべて消去されます。	消去された文書があると、電源を 「On」にしたとき自動的に「電源断レ ポート」が印刷され、消去された文書 を確認できます。消去された文書がメ モリー送信のときは相手先を確認して 送信し直します。メモリー受信または 代行受信、封筒受信のときは相手先に 送信し直してもらいます。詳しくは、 P55 「電源断レポート」を参照してく ださい。	
正しいパスワードを入力し ても、親展ボックス・掲示 板ボックス文書の印刷、蓄 積文書の送信・印刷ができ ない。	間違ったパスワードを一定 の回数入力したため、セ キュリティ機能がはたらき 文書がロックされています。	管理者に確認してください。	
[宛先登録]、[直接入力] が 表示されない。	セキュリティ強化機能で利 用制限をしています。	管理者に確認してください。	
メモリー転送機能、Fコード 掲示板ボックスの[文書登 録]、Fコード中継および配 信機能、SMTP 受信したメー ルの配信機能が使えない。	セキュリティ強化機能で利 用制限をしています。	管理者に確認してください。	

メモリーがいっぱいになったとき

メモリーがいっぱいになったときの原因と対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
メモリーが一杯になりました。 これ以上の読み取りはでき ません。 読み取ったページのみ送信 します。	メモリーがいっぱいになっ ています。	[確認] を押すと待機中の状態に戻り、蓄 積できたページまでの送信を始めます。

エラーレポートが印刷されたとき

エラーレポートは送信や受信が正常にできなかったときに印刷されます。 エラーレポートが印刷される原因として、本機のファクスか相手のファクスの不具合が考 えられます。また、電話回線に雑音が入ったときなどもエラーレポートが印刷される原因 となります。

♥ 重要

- ・送信時にエラーになったときは、もう一度送信し直してください。
- ・受信時にエラーになったときは、相手先に送信のし直しを依頼してください。
- ・操作をし直してもエラーになるときはサービス実施店に連絡してください。
- ・相手先を表示するかどうか『初期設定編』「パラメーター設定」で設定できます。工場出 荷時は「ON(表示する)」に設定されています。
- ・ユーザー名称を表示するかどうか『初期設定編』「パラメーター設定」で設定できます。 工場出荷時は「ON(表示する)」に設定されています。
- ♦ エラーレポート



1 印刷日時

レポートを印刷した日付と時間が記載されます。

- 2 発信元名称(印字用)登録内容 発信元名称(印字用)に登録されている内容が記載されます。
- 3 文書番号

文書の管理番号です。

4 ユーザー名

送信者名が記載されます。

5 相手先

相手先に発信元名称(表示用)が登録してあるときはその発信元名称(表示用)が、発 信元名称(表示用)がなく発信元ファクス番号が登録してあるときはその発信元ファ クス番号が記載されます。発信元名称(表示用)も発信元ファクス番号もない場合、送 信時は入力したファクス番号・インターネットファクス宛先・宛先表の名称が記載さ れますが、受信時は何も記載されません。

6 交信モード

送信を表す「送」、受信を表す「受」の文字のあとに、通信モードがアルファベットや 記号で記載されます。

7 通信時間

送受信にかかった時間です。

8 枚数

送受信した枚数です。

9 結果

常に「エラー」と記載されます。

E 参照

・『初期設定編』「パラメーター設定」

電源を切る / 切れたとき

電源を切るときや電源が切れたときの本機の状態について説明します。

⚠注意



・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

♥ 重要

- ・電源ランプが点灯、点滅しているときは主電源スイッチを「Off」にしないでください。 ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因となることがあります。
- ・電源プラグは、主電源スイッチを「Off」にしてから抜いてください。ハードディスクや メモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。
- ・主電源スイッチを「Off」にするときや電源プラグを抜くときは、画面のメモリー残量表 示が 100% であることを確認してください。
- ・電源断レポートが印刷されたときは、電源プラグを差し込み、主電源スイッチを約 24 時間「On」にしてください。もう一度停電したり電源プラグを抜いたとき、メモリーに蓄積されている内容を約1時間保持するための充電を行います。

主電源スイッチを「Off」にしても、登録した宛先表などの内容は消えませんが、主電源ス イッチが「Off」や停電時や電源プラグを抜いたまま約1時間経過すると、ファクスのメモ リーに蓄積されている文書(メモリー送信 / 受信 / 封筒受信など)は消去されます。メモ リーに蓄積されている文書が消去されると、次に主電源スイッチを「On」にしたとき、自 動的に電源断レポートが印刷され、消去された文書を確認できます。詳しくは、「電源断レ ポート」を参照してください。

消去された文書がメモリー送信のときは相手先を確認して送信し直します。メモリー受信 または代行受信のときは相手先に送信し直してもらいます。

電源断レポート

メモリーに蓄積されている文書が消去されると、次に主電源スイッチを「On」にしたとき、 自動的に電源断レポートが印刷され、消去された文書を確認できます。



1 印刷日時

レポートを印刷した日付と時間が記載されます。

2 発信元名称(印字用)登録内容

発信元名称(印字用)に登録されている内容が記載されます。

3 文書番号

文書の管理番号です。

4 受付時刻

文書を受け付けた時刻、すなわちメモリーに蓄積した時刻です。

5 送信(受信)条件 通信の種類、ユーザー名称などが記載されます。

6 相手先

・ファクス宛先の場合

メモリー送信のときは、テンキーで入力したファクス番号または宛先表に登録され ている名称が記載されます。

代行受信のときは、相手先には何も記載されません。

相手先に発信元名称(表示用)がなく発信元ファクス番号が登録されていればその 発信元ファクス番号が記載されます。

G4 ユニットを装着しているときは、回線の種類が「G3」「I-G3」「G4」のいずれか で記載されます。

増設 G3 ユニットを装着しているときは、回線の種類が「G3-1」「G3-2」「G3-3」「G3 (空き)」のいずれかで記載されます。

F コード (SEP/SUB/PWD/SID)、サブアドレスを登録しているときは、SEP/SUB/PWD/ SID/ サブアドレスを印字します。 ・インターネットファクス宛先の場合

「Mail」のあとに、入力したメールアドレスまたは宛先表に登録されている名称が記 載されます。

7 結果

送受信の結果が記載されます。

• OK

全ページ正しく送受信できました。

・エラー

正しく送受信できませんでした。

・待機中

ダイヤルするのを待っていた状態です。

🕛 補足

- ・電源の切れていた時間などにより、回線種類、拡張宛先データ(F コード / サブアドレス /UUI)に関する情報は記録されない場合があります。
- ・相手先を表示するかどうか『初期設定編』「パラメーター設定」で設定できます。工場出 荷時は「On(表示する)」に設定されています。
- ・ユーザー名称を表示するかどうか『初期設定編』「パラメーター設定」で設定できます。 工場出荷時は「On(表示する)」に設定されています。

■ 参照

・『初期設定編』「パラメーター設定」

インターネットファクスでエラーに なったとき

インターネットファクスでエラーが起きたときに本機から発信される情報について説明します。

エラー通知メール(ERROR MAIL NOTIFICATION)

本機が受信したメールを正常に処理できないときにメールの送信元に送られます。また、管理者メールアドレスが登録されていると、そのアドレスにも cc 送信されます。

From: aoyama@aaa.abc. Subject: From"031111	co.jp 999" ("アオヤマシテン") (Fax Message NO.0019)	
This E-mail includes atta	ched file(s) sent from "RNP6FB61A"(xxxxxxx)	
Queries to: aoyama@aaa.	bc.co.jp	
***** Error	eport (2006/10/30 14:00)******************	****
Sender: aoyama@aaa.abc.	co.jp	
Error Type: Invalid File	Code Error)	
Please Confirm		
Thank You		

➡ 補足

- エラー通知メールを送信するかどうか『初期設定編』「パラメーター設定」で設定できます。工場出荷時は「送信する」に設定されています。
- ・エラー通知メールを送信できないときは、エラーレポート(メール)が本機から出力されます。
- ・SMTP 受信でメールを正常に受信できなかったときは、SMTP サーバーからのエラーメー ルが送信元に送られます。

■ 参照

・『初期設定編』「パラメーター設定」

エラーレポート(メール)

「エラー通知メール」(ERROR MAIL NOTIFICATION) が送信できなかったときに本機から出 力されるレポートです。

	* * * エラーレポート (メール) (2006年 10月30日 14時00分) * * *	P.1
		1) 背山支店 2) aoyama office
文書番号 受付時刻 	送 信 元	
0177 14時00分	Mail :aoyama@aaa. abc. co. jp	
機器管理者様 メール	受信がエラーしたことを送信元へ通知してください。	
エラー理由:ファイル	5年正です	

AUR007D

サーバーからのエラーメール

間違ったメールアドレスを指定したときなど、送信が正常に行われなかった場合、送信メー ルがサーバーからのエラーメールと共に送信元に返送されます。

Mail INFOMATION (2006/10/30 4:09) From: "Mail Delivery Subsystem" <MAILER-DAEMON@mailsrv1.aaa.abc.co.jp> Subject: Returned mail: see transcript for details Return-Path: <MAILER-DAEMON@mailsrv1.aaa.abc.co.jp> Received: from localhost (local host) Keceved: irom localnost (local nost) by mailsvr1.aaa.abc.co.jp (8.11.2/8.11.2) id h3HHpDi29033; Mon, 30 Oct 2006 02:51:13 +0900 Date: Mon, 30 Oct 2006 02:51:13 +0900 From: Mail Delivery Subsystem To: <gfax03@mailsrv1.aaa.abc.co.jp> MIME-Version: 1.0 Content-Type: multipart/report; report-type=delivery-status; boundary="h3HHpDi29033.1050601873/mailsrv1.aaa.abc.co.jp" Subject: Returned mail: see transcript for details Auto-Submitted: auto-generated (failure) Status: 0 The original message was received at Mon, 30 Oct 2006 02:51:13 +0900 from aska2.aaa.abc.co.jp [133.139.175.163] The following addresses had permanent fatal errors -<fax@mailsrv1.aaa.abc.co.jp> (reason: 550 5.1.1 <fax@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>... User unknown) Transcript of session follows 550 5.1.1 <fax@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>... User unknown Content-Type: message/delivery-status Reporting:MTA: dns; mailsrv1.aaa.abc.co.jp Received-From-MTA: DNS; aska2.aaa.abc.co.jp Arrival-Date: Mon, 30 Oct 2006 02:51:13 +0900 Final-Recipient: RFC822; fax@aaa.abc.co.ip Action: failed Status: 5.1.1 Status: 5.1.1 Remote-MTA: DNS; prelude.aaa.abc.co.jp Diagnostic-Code: SMTP; 550 5.1.1 <fax@aaa.abc.co.jp>... User unknown Last-Attempt-Date: Mon, 30 Oct 2006 02:51:13 +0900 Content-Type : message/rfc822 Return-Path: <gfax03@mailsrv1.aaa.abc.co.jp> Received: from RNP6FB61A (aska2.aaa.abc.co.jp [133.139.175.163]) by mailsrv1.aaa.abc.co.jp (8.11.2/8.11.2) with SMTP id h3HHpDi290 31 for <fax@aaa.abc.co.jp>; Mon, 30 Oct 2006 02:51:13 +0900 From: gfax03@mailsrv1.aaa.abc.co.jp Subject: -91SO-2022-JP98RFnJvbSAIMDMzNzc30DExMSIoIhskQiVqJTMbKEltlikoRmF4IE1lc3Nh?= =?ISO-2022-JP?BRZ2UgTk8uMDA10Sk=?= To: fax@aa.abc.co.jp Date: Mon, 30 Oct 2006 04:09:43 +0900 Message-1d: <20061030041094349.DCSML-F00059-S00003.0000746F861A@133.139.175.163> MIME-Version: 1.0 Content-Type: multipart/mixed; boundary="DC_BOUND_PRE_<1050606583.00007746fb61a>" AUROOSS

・サーバーからのエラーメールに続いて送信した文書の1ページ目が印刷されます。

● 補足

4. プリンター機能がうまく使えな いとき

プリンター機能がうまく使えないときの対処方法について説明します。

プリンタードライバーのインストール 中にメッセージが表示されたとき

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたときの操作方法に関する説明です。

フリンタートライ	バーの導入	×
	新しいトライハーが既に導入されているため、インストールを継続することができません。 お使いの機種名 RPCS [Windows 2000/XP/Server 2003]	(58)
	OK	

上記のような(58)のメッセージ、または(34)のメッセージが表示されたときは、オー トランプログラムによるインストールはできません。[プリンタの追加] または [プリンタ のインストール] でインストールし直してください。

(58) のメッセージは、インストールされているプリンタードライバーよりも、古いバー ジョンのプリンタードライバーをインストールしようとしたときに表示されます。

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0 について説明します。

- 【スタート】ボタンをクリックし、[設定]をポイントし、[プリンタ]を クリックします。
- 2 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [プリンタの追加ウィザード] に従ってインストールします。 プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、RPCS のインストール元は CD-ROM

の¥DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME、¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XPまたは¥DRIVERS¥RPCS¥NT4 になります。インストーラーが起動したときは[キャンセル]をクリックして終了させます。

4 ポートを設定します。

手順はご使用のポートの記載を参照してください。

🔱 補足

- ・お使いの Windows とインターフェースによって、使用できるポートが異なります。詳し くは、『プリンター機能編』「印刷するための準備」を参照してください。
- E 参照
- ・『プリンター機能編』「印刷するための準備」

61

Windows XP Professional、Windows Server 2003 の場合

Windows XP Professional、Windows Server 2003 について説明します。

- 【 [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
- 2 [プリンタの追加]をクリックします。
- **3** [プリンタの追加ウィザード] に従ってインストールします。 プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、RPCS のインストール元は CD-ROM の ¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP になります。インストーラーが起動したと きは [キャンセル] をクリックして終了させます。

4 ポートを設定します。

手順はご使用のポートの記載を参照してください。

● 補足

・お使いの Windows とインターフェースによって、使用できるポートが異なります。詳し くは、『プリンター機能編』「印刷するための準備」を参照してください。

● 参照

・『プリンター機能編』「印刷するための準備」

Windows XP Home Edition の場合

Windows XP Home Edition について説明します。

- スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。
- **2** [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
- 3 [プリンタと FAX] をクリックします。
- 4 [プリンタのインストール] をクリックします。
- 5 [プリンタの追加ウィザード] に従ってインストールします。 プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、RPCS のインストール元は CD-ROM の ¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP になります。インストーラーが起動したと きは [キャンセル] をクリックして終了させます。

手順はご使用のポートの記載を参照してください。

↓ 補足

・お使いの Windows とインターフェースによって、使用できるポートが異なります。詳し くは、『プリンター機能編』「印刷するための準備」を参照してください。

■ 参照

・『プリンター機能編』「印刷するための準備」

USB 接続がうまくいかないとき

USB 接続がうまくいかないときの対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
本機が自動認識されない。	USB ケーブルの接続に 問題があります。	USB ケーブルを抜き本機の電源の OFF/ON を行 い、再度立ち上がったのを確認してから USB ケーブルを接続してください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をして しまった。	不正なデバイスとして 認識していないか、確 認してください。	Windows のデバイスマネージャで、不正なデバ イスを「ユニバーサル シリアル バス コントロー ラ」から削除してください。不正なデバイスは、 アイコンに黄色の「!」がついたり、黄色の 「?」がついたりしています。必要なデバイスを 削除しないようにご注意ください。デバイスマ ネージャへのアクセス方法、デバイスの削除につ いては、Windows のヘルプを参照してください。 Windows 2000/XP、Windows Server 2003 をお使 いの場合は、不正なデバイスはデバイスマネー ジャの「USB(Universal Serial Bus)コントロー ラ」に表示されます。

メッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージに従って対処してください。

サービスコールのメッセージには、連絡先と機械番号が表示されますので、ご確認の上、 サービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄の場合は、販売店に連絡してください。

● 補足

・主電源を切る前に、『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を参照し てください。

F 参照

・『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」

状態表示メッセージ

本機の状態を表示しているメッセージについて説明します。

メッセージ	状態
印刷できます	パソコンからデータを送って印刷することができます。
ウェイティング	印刷データの受信待ちです。データの受信が完了すると印刷が始まります。
オフライン	オフライン状態です。 印刷したいときは [オンライン] を押して、オンライン状態にしてくだ さい。
おまちください	1 秒程度の短い間、このメッセージが表示されることがあります。準備 中、初期調整中、またはトナー補給中です。しばらくお待ちください。
ヘキサダンプモード	ヘキサダンプモードに設定されています。
ジョブリセット中	ジョブリセット中です。
設定変更中	設定変更中です。 このメッセージが表示されているときは、キー操作が無効になります。 しばらくお待ちください。

エラーコードが表示されないメッセージ

エラーコードが表示されないメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
無線カードに接続できませ ん。主電源を切り、無線 カードを確認してください。	IEEE 802.11b カード、また は Bluetooth カードが起動 時に装着されていませんで した。	主電源を切り、カードが正しく装着さ れているか確認してください。 それでも同じメッセージが表示される ときは、サービス実施店に確認してく ださい。
無線カードに接続できませ ん。主電源を切り、無線 カードを確認してください。	IEEE 802.11b カード、また は Bluetooth カードが起動 後に抜かれました。	主電源を切り、カードが正しく装着さ れているか確認してください。 それでも同じメッセージが表示される ときは、サービス実施店に確認してく ださい。
無線カードが故障しています。	本機では使用できない無線 カードが装着されています。	主電源を切り、無線カードを確認して ください。 それでも同じメッセージが表示される ときは、サービス実施店に確認してく ださい。
無線ボードが故障しています。	IEEE 802.11b カード、また は Bluetooth カードを接続 するボードに対してアクセ スはできますが、エラーを 検出しました。	主電源を切り、ボードが正しく装着さ れているか確認してください。 それでも同じメッセージが表示される ときは、サービス実施店に確認してく ださい。
ハードディスクが故障しま した。	HDD ユニットが異常です。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示される ときは、サービス実施店に確認してく ださい。
入力したパスワードが間 違っています。	暗号化された PDF ファイル のパスワードが一致してい ません。	正しいパスワードを入力してください。
エラーが発生しました。	構文エラーなどが発生して います。	PDF ファイルが正しいかどうか確認 してください。
USB エラーです。	USB インターフェースが異 常です。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示される ときは、サービス実施店に確認してく ださい。
イーサネットエラー	イーサネットボードが異常 です。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示される ときは、サービス実施店に確認してく ださい。
選択した文書は印刷を許可 しない設定になっています。	印刷が許可されていない文書 を印刷しようとしています。	印刷できません。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
認証に失敗しました。	 ・ログインユーザー名また はログインパスワードが 間違っています。 ・本機が認証できない状態 になっています。 	 ・ログインユーザー名またはログイ ンパスワードを確認してください。 ・管理者に確認してください。
パラレル I/F エラーです。	パラレルインターフェース が異常です。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示される ときは、サービス実施店に確認してく ださい。
ファイルシステムの取得に 失敗しました。	ファイルシステムが獲得で きないため、PDF 受信が行 えません。	送信データを減らしてください。
プリンターフォントエラー です。	プリンターのフォントファ イルが異常です。	サービス実施店に確認してください。
ファイルシステムがいっぱ いです。	ファイルシステムの容量が いっぱいで、PDF ファイル を印刷できません。	HDD 内の不要なファイルを削除して ください。 または送信データを減らしてください。
メモリーオーバー	PS3 で、ディスプレイリス トオーバーフローを起こし ました。	プリンタードライバーで、[解像度] を現在の設定よりも低くしてくださ い。または [システム設定]の [優先 メモリー]を [ユーザーメモリー] に 変更してください。詳しくは、『初期 設定編』「システム設定」を参照して ください。それでも同じメッセージが 表示されるときは、送信データを減ら してください。
回転処理実行	RPCS のプリンタードライ バーが作成した画像方向に 対して 90 度回転処理を行 いました。	RPCS のプリンタードライバーでの用 紙のセット方向と、操作部でのセット 方向が異なるときに発生します。プリ ンタードライバーと操作部のセット方 向を合わせてください。
本文を章区切り紙と同じト レイで指定しているため印 刷できません。設定を確認 してください。	本文と章区切り紙を同じト レイに設定しているため印 刷できません。	ジョブリセットを行ってください。本 文は章区切り紙と異なるトレイを使用 する設定にして印刷し直してください。

エラーコードが表示されるメッセージ

エラーコードが表示されるメッセージについて説明します。

★ 重要

・「エラーコードが表示されるメッセージ」は、[システム設定]の[エラー表示設定]を 「すべて表示」に設定すると表示されます。『初期設定編』「システム設定」を参照してく ださい。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
84:イメージ処理用のワー クエリアがありません。	イメージ処理用のワーク エリアがありません。	[システム設定] の [優先メモリー] を [ユーザーメモリー] に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または、送信データを減らしてください。
85:グラフィックスの環 境が不当です。	指定されたグラフィック ライブラリがありません。	データが正しいか確認してください。
86:制御コードのパラ メーターが不適当です。	制御コードのパラメー ターが不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。
87:フリーサイズのため のメモリー領域がありま せん。	フリーサイズのためのメ モリー領域がありません。	[システム設定]の[優先メモリー]を [ユーザーメモリー]に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または、サイズの指定を小さくしてく ださい。
89:メモリースイッチの 内容が不良です。	[国別指定]の設定が正し くありません。または印 刷条件の設定が最大値を 超えています。	印刷条件を正しく設定してください。
90:外部メディア上に空 き領域がありません。	RPDL で、HDD の空き領 域が少なくなりました。	登録されているフォントやフォームの うち不要なものを削除してください。
91:ジョブがキャンセル されました	コマンド解析不可、不正 コマンド検知などにより、 オートジョブキャンセル 機能が作動し、印刷が中 止されました。	データが正しいか確認してください。
92:ジョブリセットしま した	本機の操作部で[ジョブ リセット]、または[クリ ア/ストップ]キーを押 したことにより、印刷が 中止されました。	データが正しいか確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
92:イメージ/オーバー レイのメモリー領域があ りません。	イメージオーバーレイの ためのメモリー領域が不 足しています。	ドライバーの設定で解像度を下げて、 送信データを減らしてください。 または、[システム設定]の[優先メモ リー]を[ユーザーメモリー]に変更し てください。詳しくは、『初期設定編』 「システム設定」を参照してください。
92:メモリーオーバー	作業用メモリーが不足し ているため RTIFF が動作 できません。	[システム設定]の[優先メモリー]を [ユーザーメモリー]に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または送信データを減らしてください。
93:外字/ダウンロード のためのメモリー領域が ありません。	外字またはフォントなど を登録するメモリー領域 が足りません。	[システム設定]の[優先メモリー]を [ユーザーメモリー]に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または、登録データを減らしてください。
94:ダウンロードデータ に不良があります。	フォントのダウンロード データに誤りがありました。	フォントセットダウンロードのパラ メーターを修正してください。
95:指定されたフォント がフォントファイルにあ りません。	存在しない文字の印字要 求がありました。	文字コードを正しく設定してください。
96:文字セットエラー	存在しないフォントを選 択しました。	オプションの拡張フォントカードを正 しくセットし、フォント選択プログラ ムを正しく修正してください。
96:フォントをセレクト できません。	指定されたフォントを選 択できません。	存在するフォントを選択するように、 パラメーターを修正してください。
97:フォントをアロケー ションするエリアがあり ません。	フォントを登録する領域 がありません。	[システム設定] の [優先メモリー] を [ユーザーメモリー] に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または送信データを減らしてください。
98:ハードディスクへの アクセスに失敗しました。	HDD へのアクセスがうま くできませんでした。	主電源を入れ直してください。メッ セージが多発するときは、サービス実 施店に確認してください。 (主電源を切る前に、『本機のご利用に あたって』「電源の入れかた、切りか た」を参照してください。)
99:ワーニング	RTIFF のデータ処理中に エラーが発生しました。	詳しくは『RTIFF』使用説明書を参照し てください。
99:データエラー	RTIFF のデータ処理中に 致命的なエラーが発生し ました。	詳しくは『RTIFF』使用説明書を参照し てください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
9B:この機能を利用する 権限がないため、操作は キャンセルされました	認証が不適合なユーザー が、プログラムの登録ま たは給紙トレイの情報登 録をしようとしました。	管理者に確認してください。
A3:オーバーフロー	受信バッファがオーバー フローしました。	[システム設定] の [優先メモリー] を [ユーザーメモリー] に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または送信データを減らしてください。
A4:ソートオーバー	ソートできる枚数をオー バーしています。	印刷ページ数を減らしてください。
A6:ページフル	ページ印刷中にページ画 像が破棄されました。	ドライバーの設定で解像度を下げて、 送信データを減らしてください。
A7:ドローエラー	描画処理中にエラーが発 生しました。	[システム設定]の[優先メモリー]を [ユーザーメモリー]に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または送信データを減らしてください。
A8:ライブラリー	ライブラリー描画中にエ ラーが発生しました。	[システム設定] の [優先メモリー] を [ユーザーメモリー] に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または送信データを減らしてください。
A9:ページエラー	試し印刷/機密印刷/保 留印刷/保存印刷で、 ページオーバーが発生し ました。	本機に登録されている文書のうち不要 なものを消去してください。 または印刷するページ数を減らしてく ださい。
AA:文書数オーバーが発 生しました。	試し印刷/機密印刷/保 留印刷/保存印刷で、文 書数オーバーが発生しま した。	本機に登録されている文書のうち不要 なものを消去してください。
AB:HDD オーバーフ ローが発生しました。	試し印刷/機密印刷/保 留印刷/保存印刷で、 HDD がオーバーフローし ました。	本機に登録されている文書のうち不要 なものを消去してください。 または、試し印刷/機密印刷/保留印 刷/保存印刷しようとしている文書の サイズを小さくしてください。
AC:HDD 領域がオー バーしました。	RTIFF で、フォームまた はフォント用の HDD 領域 がオーバーしました。	本機に登録されているフォームまたは フォントのうち不要なものを削除して ください。
AI:給紙サイズエラー	給紙できないサイズの印 刷が指定されたため、印 刷が中止されました。	本機で給紙できる用紙サイズを指定し て印刷してください。
メッセージ	原因	対処方法と参照先
---	---	---
B6:ユーザー情報の自動 登録に失敗しました。	登録件数が満杯で、LDAP 認証、Windows 認証時に 認証情報を機器のアドレス 帳に自動登録できません。	管理者に連絡してください。
B7:認証されたユーザー の情報が、登録済みのユー ザーと重複しています。	LDAP や RDH 認証で、異 なるサーバに別の ID で同 じ名前が登録されていて、 ドメイン (サーバー)の 切り替えによるなどで、 名前 (アカウント名)の 重複が発生しました。	管理者に連絡してください。
B8:サーバーからの応答 がないため認証できませ んでした。	LDAP 認証、Windows 認 証の際にサーバへの認証 問合せでタイムアウトが 発生しました。	認証問合せ先のサーバーの状態を確認 してください。
B9:他の機能でアドレス 帳を使用中のため認証で きませんでした。	他の機能でアドレス帳を 使用中の状態が続いてお り、認証問合せができま せん。	しばらくしてからもう一度操作をやり なおしてください。
BA:この機能を利用する 権限がないため、ジョブ はキャンセルされました。	 ・ログインユーザー名ま たはログインパスワー ドが間違っています。 ・機能を使う権限が設定 されていません。 	 ・ログインユーザー名またはログイン パスワードを確認してください。 ・管理者に確認してください。
BC:ソートエラー	ソートが解除されました。	主電源を入れ直してください。それで も同じエラーになるときは、サービス 実施店に連絡してください。 (主電源を切る前に、『本機のご利用に あたって』「電源の入れかた、切りか た」を参照してください。)
BD:ステープルを解除し ました。	ステープルが解除されま した。	用紙の方向、用紙の枚数、印刷の向き、 ステープルの位置指定を確認してくだ さい。設定内容によっては、思いどお りのステープル結果にならず、用紙が 排出されてしまうことがあります。
BE:パンチを解除しました。	フィニッシャーのパンチ 機能が解除されました。	用紙の方向、印刷の向き、パンチの位 置指定を確認してください。設定内容 によっては、思いどおりのパンチ結果 にならず、用紙が排出されてしまうこ とがあります。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
BF:両面印刷の指定を解 除しました。	両面印刷が解除されました。	両面印刷可能なサイズの用紙を使用し てください。 またトレイが両面禁止の設定になって いないか確認してください。 上トレイは、両面印刷の排紙先として 使用できません。
C1:コマンドエラー	無効なコマンドを受信し ました。	次のいずれかを行ってください。 ・OE、IN コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
C2:パラメータ数エラー	パラメーターの数が不適 当です。	次のいずれかを行ってください。 ・OE、IN コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
C3:パラメータ範囲エ ラー	パラメーターの範囲が不 適当です。	次のいずれかを行ってください。 ・OE、IN コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
C6:ポジションエラー	印刷位置が不適当です。	次のいずれかを行ってください。 ・OE、IN コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
C7:ポリゴンサイズエラー	ポリゴンバッファが不足 しています。	次のいずれかを行ってください。 ・OE、IN コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
C8:フォントキャッシュ エラー	ダウンロード用バッファ サイズが不足しています。	[システム設定]の[優先メモリー]を [ユーザーメモリー]に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または、ダウンロードするフォントサ イズを減らしてください。
C9:パターンキャッシュ エラー	ラスターに対するテクス チャーパターン用バッ ファサイズが不足してい ます。	[システム設定]の[優先メモリー]を [ユーザーメモリー]に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または、サイズを小さくしてください。
CA:原稿サイズ判定エラー	原稿サイズ判定用バッ ファがオーバーフローし、 後続データ中に、原稿サ イズを超える領域の描画 があります。	[システム設定]の[優先メモリー]を [ユーザーメモリー]に変更してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システ ム設定」を参照してください。 または、サイズを小さくしてください。
D0:応答エラー	応答コマンド実行中に、 次の応答コマンドの実行 要求がありました。	次のいずれかを行ってください。 ・ESC.E コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
D1:コマンドエラー	無効なデバイスコント ロールコマンドを受信し ました。	次のいずれかを行ってください。 ・ESC.E コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
D2:無効パラメータエラー	デバイスコントロールコ マンドのパラメーターの 中に無効な 1 バイトを受 信しました。	次のいずれかを行ってください。 ・ESC.E コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
D3:パラメータ範囲エラー	デバイスコントロールコ マンドのパラメーターが 有効範囲を超えています。	次のいずれかを行ってください。 ・ESC.E コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
D4:パラメータ数エラー	デバイスコントロールコ マンドのパラメーター数 が不適当です。	次のいずれかを行ってください。 ・ESC.E コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
DC:フォントセレクトエラー	指定したフォントをセレ クトできません。	次のいずれかを行ってください。 ・OE、IN コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
DD:フォントエラー	指定したフォントがフォン トテーブルにありません。	次のいずれかを行ってください。 ・OE、IN コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
DE:パラメータ範囲エラー	文字サイズが不適当です。	次のいずれかを行ってください。 ・OE、IN コマンドを実行する。 ・印刷条件リストを印刷する。
DF:ワークメモリーエラー	シェーディング実行のため の領域が不足しています。	データの量を減らしてください。
EA:排紙先変更	排紙先の用紙サイズ制限 のため、排紙先を変更し ました。	正しい排紙先を指定してください。
L1:ドキュメントボック スのメモリーが一杯にな りました	ドキュメントボックスへ の蓄積で HDD オーバーが 発生しました。	本機に登録されているドキュメント ボックスの文書を消去するか、送信文 書のサイズを小さくしてください。
L2:ドキュメントボック スの蓄積文書数が一杯に なりました	ドキュメントボックスへ の蓄積で文書数オーバー が発生しました。	本機に登録されているドキュメント ボックスの文書を消去してください。
L3:ドキュメントボック スの蓄積ページ数が一杯 になりました	ドキュメントボックスへ の蓄積でページオーバー が発生しました。	本機に登録されているドキュメント ボックスの文書を消去するか、送信文 書のページ数を減らしてください。
L5:ドキュメントボック ス機能が無効のため、蓄 積できませんでした。	ドキュメントボックス機 能が無効(使用禁止)と なっています。	管理者に確認してください。
M1:文書管理用の文書を 蓄積できないため、印刷 を中止しました(メモ リー容量限界)	キャプチャーデータの保 存時に、HDD オーバーフ ローが起こりました。	登録されているドキュメントボックス の文書を削除してください。 または、送信する文書のサイズを小さ くしてください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
M2:文書管理用の文書を 蓄積できないため、印刷 を中止しました(蓄積最 大文書数超過)	キャプチャーデータの保 存時に、文書数オーバー が起こりました。	登録されているドキュメントボックス の文書を削除してください。
M3:文書管理用の文書を 蓄積できないため、印刷 を中止しました(1 文書あ たりの最大ページ数超過)	キャプチャーデータの保 存時に、ページ数オー バーが起こりました。	登録されているドキュメントボックス の文書を削除してください。 または、送信する文書のサイズを小さ くしてください。
P1:コマンドエラー	RPCS のコマンドエラー です。	次のいずれかを確認してください。 ・ホストとプリンターの間で正常に通 信ができるか。 ・機種に合ったプリンタードライバー を使用しているか。 ・プリンタードライバーのメモリーを 正しく設定しているか。
P2:メモリーエラー	メモリーの取得エラーです。	解像度を下げるか、または印刷データ を小さくしてください。
P3:メモリーエラー	メモリーの取得エラーです。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示される ときは、本体メモリーの交換が必要で す。詳しくは、管理者に確認してくだ さい。
P4:送信中止	プリンタードライバーか ら、データ送信中断コマ ンドを受信しました。	ホストが正しく動作しているか確認し てください。
P5:受信中止	データの受信が中断しま した。	データを再送してください。

それでも印刷が開始されないときは、サービス実施店に連絡してください。

↓ 補足

- ・プリンター初期設定の [エラー表示設定] を [簡易表示] に設定した場合、表示されな いメッセージがあります。
- RPDLまたはオプションのエミュレーションカードを搭載しているときに表示されるメッ セージがあります。
- ・以下のメッセージは、エラー履歴を印刷したときや、操作画面でのエラー履歴表示にて 確認することができます:「91:ジョブがキャンセルされました」「92:ジョブリセット しました」「回転処理実行」

₿ 参照

- ・『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」
- ・『初期設定編』「システム設定」

エラー履歴を確認する

エラーなどにより文書を印刷できなかった場合は、エラー履歴が残り、操作部で確認する ことができます。

✔ [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。



2 [エラー履歴表示] を押します。

呼 出」。PCS			
▶給紙トレイ 1日□2日 A4 A4	3⊌□ A3	4 L D 5 A2	5 ⊔ ⊑ A2
▶文書印刷/履歴表示 文書印刷 … エラー履歴表示 … ジョ			
	システム状態	ジョブ一覧	

エラー履歴が表示されます。

🔱 補足

- エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たな エラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が試し印刷、機 密印刷、保留印刷、または、保存印刷の場合は消去されずに、同じ蓄積のエラー履歴と して、30 件まで別に蓄積します。
- ・簡単画面に切り替えているときは、[エラー履歴表示]が選択できません。
- ・主電源スイッチを「Off」にすると、それまでの履歴は消去されます。

印刷が始まらないとき

パソコンから印刷を実行しても印刷が始まらない場合は、次の説明に従って対処してくだ さい。

状態	原因	対処方法と参照先
印刷が始まらない。	電源が入っていません。	電源プラグがコンセントに確実に差し込 まれていることを確認した後、主電源ス イッチを「On」側にしてください。
印刷が始まらない。	「オフライン」状態になっ ています。	[オンライン] を押して、オンライン状 態にしてください。
印刷が始まらない。	操作部の画面に原因が表 示されます。	表示されているメッセージを確認して、 エラーの対処をしてください。詳しく は、P.65 「メッセージが表示されたと き」を参照してください。
印刷が始まらない。	インターフェースケーブ ルが正しく接続されてい ません。	インターフェースケーブルを正しく接続 してください。詳しくは、『初期設定編』 「インターフェースを接続する」を参照 してください。
印刷が始まらない。	適切なインターフェースケー ブルを使用していません。	使用するインターフェースケーブルはパソ コンの種類によって異なります。適切なイ ンターフェースケーブルを使用してくださ い。また、断線が考えられる場合は、ほか のケーブルと交換してみてください。詳し くは、『初期設定編』「インターフェースを 接続する」を参照してください。
印刷が始まらない。	本機の電源を入れてから インターフェースケーブ ルを接続をしました。	インターフェースケーブルを接続してか ら、本機の電源を入れてください。
印刷が始まらない。	拡張無線 LAN を使用して いる場合、電波状態に よっては印刷できません。	[初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押して、[システム初期設定]を 押します。続いて[インターフェース設 定]から[IEEE 802.11b]を押し、[電 波状態]を押すと、電波状態が確認でき ます。電波状態が悪い場合は、電波の通 る場所へ移動するか、障害物を取り除い てください。 (電波状態を確認できるのは、インフラ ストラクチャーモードのときだけです。)
印刷が始まらない。	拡張無線 LAN を使用して いる場合、SSID の設定が 間違っています。	接続先との SSID が正しく設定されてい ることを、本機の操作部で確認してくだ さい。詳しくは、『初期設定編』「ネット ワークの設定」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
印刷が始まらない。	拡張無線 LAN を使用して いる場合、アクセスポイン トによっては MAC アドレ スなどで通信相手を制限し ている場合があります。	インフラストラクチャーモードの場合、 アクセスポイントの設定を確認してくだ さい。アクセスポイントによっては MAC アドレスなどで通信相手を制限し ている場合があります。 また、無線クライアントとアクセスポイ ント間、アクセスポイントと有線クライ アント間の通信に問題がないか確認して ください。
印刷が始まらない。	拡張無線 LAN が起動して いません。	オレンジの LED が点灯していることと、 緑の LED が点灯(通信中)または点滅 (検索中)していることを確認してくだ さい。
印刷が始まらない。	ログインユーザー名、ロ グインパスワードまたは ドライバー暗号鍵が間 違っています。	ログインユーザー名、ログインパスワー ドまたはドライバー暗号鍵を確認してく ださい。
印刷が始まらない。	セキュリティ強化機能で 高度な暗号化が設定され ています。	セキュリティ強化機能の設定について、 管理者に確認してください。
データインランプが点滅、 点灯しない。	印刷を実行してもデータ インランプが点滅、点灯 しないときは、本機に データが届いていません。	 パソコンとケーブルで接続しているときは、パソコンの印刷ポートの設定が適切かどうかを確認してください。印刷ポートの確認方法は、「パソコンとケーブルで直接接続しているとき」を参照してください。 パソコンとネットワークで接続しているときは、ネットワークの管理者に確認してください。
プリンターの状態表示ラ ンプが点灯している。	操作部の画面に原因が表 示されます。	表示されている内容を確認して、エラー の対処をしてください。詳しくは、P65 「メッセージが表示されたとき」を参照 してください。
「宛先表を更新しています。 しばらくお待ちください。 すでに宛先/送信者名が選 択されていた場合は、この 表示が消えた後に選択しな おしてください。」と表示 されている。	Network Monitor for Admin を使って、ネットワーク 上から宛先登録を実行し ています。	メッセージが消えるまでお待ちくださ い。また、メッセージが表示されている 間は、主電源スイッチを「Off」にしな いでください。 メッセージが表示されているときは、操 作ができません。登録する宛先の数に よっては、しばらく操作できないときが あります。
テスト印刷ができない。	本機が故障している可能 性があります。	サービス実施店に確認してください。 詳しくは、『初期設定編』「テスト印刷す る」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
拡張無線 LAN をアドホッ クモードで使用していて、 印刷が始まらない。	通信モードが正しく設定 されていません。	主電源を入れ直してください。詳しくは、 『本機のご利用にあたって』「電源の入れ かた、切りかた」を参照してください。 または [システム初期設定]、[インター フェース設定]、[ネットワーク] の設定 項目を変更してください。詳しくは、 『初期設定』「ネットワークの設定」を参 照してください。

それでも印刷が始まらないときは、サービス実施店に確認してください。

♦ パソコンとケーブルで直接接続しているとき

データインランプが点灯・点滅しないときの、印刷ポートの確認方法です。

印刷ポートの設定が適切かどうか確認してください。パラレルインターフェースで接続 しているときは、LPT1 または LPT2 に接続します。

Windows 95/98/Me の場合

- 1) [スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントし、[プリンタ]をクリックします。
- 2) 該当するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの[プロパティ]をクリックします。
- 3) [詳細] タブをクリックします。
- 4) [印刷先のポート] ボックスで正しいポートを選択します。

Windows 2000 または Windows NT 4.0 の場合

- 1) [スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントし、[プリンタ]をクリックします。
- 2) 該当するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの[プロパティ]をクリックします。
- 3) [ポート] タブをクリックします。
- 4) [印刷するポート] ボックスで正しいポートを選択します。

Windows XP Professional、Windows Server 2003 の場合

- 1) [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
- 2) 該当するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[プリンタのプロパ ティの設定]をクリックします。
- 3) [ポート] タブをクリックします。
- 4) [印刷するポート] ボックスで正しいポートを選択します。

Windows XP Home Edition の場合

- 1) [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
- 2) [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
- 3) [プリンタと FAX] をクリックします。
- (4) 該当するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[プリンタのプロパ ティの設定]をクリックします。
- 5) [ポート] タブをクリックします。
- 6) [印刷するポート] ボックスで正しいポートを選択します。

思いどおりに印刷できないとき

パソコンから印刷を実行しても思いどおりに印刷できないときの原因と対処方法を説明します。

きれいに印刷できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
全体がかすれる。	歯が点滅しているときは、 トナーが少なくなってい ます。	トナーは早めに補給してください。ト ナーの補給方法については、P.117 「ト ナーがなくなったとき」を参照してくだ さい。
全体がかすれる。	用紙に湿気が含まれてい ます。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用 してください。詳しくは、『本機のご利 用にあたって』「用紙について」を参照 してください。
全体がかすれる。	適切な用紙がセットされ ていません。	当社推奨の用紙に変えてください。(目 の粗い用紙や表面が加工されている用紙 に印刷するとかすれて印刷されることが あります。)詳しくは、『本機のご利用に あたって』「用紙について」を参照して ください。
部分的に写らない箇所が ある。	用紙に湿気が含まれてい ます。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用 してください。詳しくは、『本機のご利 用にあたって』「用紙について」を参照 してください。
白いスジが出る。	山が点滅しているときは、 トナーが少なくなってい ます。	トナーは早めに補給してください。ト ナーの補給方法については、P.117 「ト ナーがなくなったとき」を参照してくだ さい。

ドライバーの設定が必要なとき

状態	原因	対処方法と参照先
全体がかすれる。	プリンタードライバーの [印刷品質] タブで [ト ナーセーブ] をチェック していると、全体的に薄 く印刷されます。	詳しくはプリンタードライバーのヘルプ を参照してください。
指でこするとにじむ。	厚紙を使用している場合、 用紙種類の設定が厚紙に なっていない可能性があ ります。	プリンタードライバーの[基本]タブで [用紙種類]を[厚紙]に設定してくだ さい。
画面どおりに印刷されない。	変倍や集約を行うと、行 の最後の文字が次の行に 送られるなど、画面上と レイアウトが異なること があります。	アプリケーション側でレイアウトや文字 の大きさの設定を変更してください。
画面どおりに印刷されない。	TrueType フォントをプリン ターフォントに置き換える 設定で印刷しています。	画面と同じ文字で印刷するには、 TrueType フォントをイメージで印刷する 設定を選択してください。 詳しくはプリンタードライバーのヘルプ を参照してください。
グラフィックデータを印 刷したときに、画面と多 少異なって印刷される。	RPDL プリンタードライ バーでグラフィックスコ マンドを使用する設定に すると、本機側のグラ フィックスコマンドを使 用して印刷されます。	正確に印刷したい場合は、プリンタード ライバーでグラフィックスコマンドを使 用しない設定にして印刷してください。
意味不明の文字が印刷さ れる。	エミュレーションが正し く選択されていない可能 性があります。	正しいエミュレーションを設定してくださ い。詳しくは、『プリンター機能編』「印刷 終了後にプリンターのエミュレーションを 切り替える」を参照してください。
縦と横が逆に印刷される。	セットした用紙方向とプリ ンタードライバーのオプ ションセットアップで設定 した用紙方向が合っていな い可能性があります。	正しく設定してください。 詳しくはプリンタードライバーのヘルプ を参照してください。
画像が途中で切れたり、余 分なページが印刷される。	アプリケーションで設定 した用紙サイズより小さ い用紙に印刷している可 能性があります。	アプリケーションで設定したサイズと同 じサイズの用紙をセットしてください。 同じサイズの用紙をセットできないとき は、変倍の機能を使って縮小して印刷す ることができます。 詳しくはプリンタードライバーのヘルプ を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
ページレイアウトがずれる。	プリンターによって印刷 領域が異なることがある ため、他のプリンターで 印刷すると 1 ページに 入っていた文書が本機で 印刷すると 1 ページに入 らないことがあります。	プリンタードライバーの [初期設定] タ ブで、[印刷領域] の設定を変更してく ださい。 詳しくはプリンタードライバーのヘルプ を参照してください。
写真が粗く印刷される。	アプリケーションによっ ては、解像度を下げて印 刷するものがあります。	アプリケーションの設定で解像度を上げ て印刷してください。
実線が破線で印刷される。	ディザパターンが合って いません。	プリンタードライバーの[印刷品質]タ ブから[印刷品質-ユーザー設定]ダイ アログを表示し、[画質調整]タブで [ディザリング設定]の設定を変えてく ださい。 詳しくはプリンタードライバーのヘルプ を参照してください。
Windows 95/98/Me、 Windows 2000/XP、 Windows Server 2003、 Windows NT 4.0 の場合で、 接続されているオプショ ンが認識されない。	双方向通信が働いていま せん。	プリンターのプロパティでオプション セットアップをすることが必要です。 詳しくはプリンタードライバーのヘルプ を参照してください。
印刷途中で違うエミュ レーションに切り替わっ てしまう。	プリンター初期設定の [エミュレーション検知] が「する」に設定されて いる場合、[インター フェース切替時間]の設 定が短すぎるとデータの 途中で誤ったエミュレー ションに切り替わってし まいます。	[インターフェース切替時間]を長めに 設定するか、[エミュレーション検知] を「しない」に設定してください。詳し くは、『初期設定編』「システム設定」、 「インターフェース設定」を参照してく ださい。
Windows 95/98/Me、 Windows 2000/XP、 Windows Server 2003、 Windows NT 4.0 の場合で、 集約印刷や製本印刷、用 紙指定変倍が指定どおり にできない。	アプリケーションまたは プリンタードライバーの 設定が間違っています。	アプリケーションで設定した用紙と同じ サイズ・方向が設定されているか、プリ ンタードライバーの [基本] タブで確認 してください。 異なるサイズが設定されている場合は、 用紙サイズと方向を選択してください。

給紙がうまくいかないとき

状態	原因	対処方法と参照先
思ったトレイとは違うト レイから給紙される。	Windows からの印刷時は 操作部で給紙トレイを選 択しても、プリンタード ライバーの設定が優先し ます。	プリンタードライバーで給紙するトレイ を選択してください。 詳しくはプリンタードライバーのヘルプ を参照してください。
画像が斜めに印刷される。	給紙トレイのサイドフェ ンスが正しくセットされ ていません。	 ・用紙を取り除いてください。詳しくは、 P127「用紙や原稿がつまったとき」を 参照してください。 ・サイドフェンスが正しくセットされて いるか確認してください。さらに、ト レイ3から5の場合は、サイド固定レ バーがロックされているかどうかも確 認してください。詳しくは、P111「用 紙サイズを変更するとき」を参照して ください。
画像が斜めに印刷される。	用紙が斜めに搬送されて います。	用紙を正しくセットし直してください。 詳しくは、P:103 「用紙がなくなったと き」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	セットされている用紙が 多すぎます。	給紙トレイ内または手差しトレイのサイ ドフェンスに示されている上限表示の線 を超えないように用紙を入れてくださ い。詳しくは、P103 「用紙がなくなっ たとき」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	サイドフェンスがきつく セットされています。	サイドフェンスを軽く突き当て直してく ださい。また、給紙トレイへの厚紙の セット枚数は 20 枚以上を推奨します。
何度も用紙がつまる。	用紙に湿気が含まれてい ます。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用 してください。詳しくは、『本機のご利 用にあたって』「用紙について」を参照 してください。
何度も用紙がつまる。	用紙が厚すぎるか、薄す ぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。詳 しくは、『本機のご利用にあたって』「用 紙について」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に折り目やシワがあ ります。	当社推奨の用紙を使用してください。ま た、適度な温度、湿度で保管した用紙を 使用してください。詳しくは、『本機の ご利用にあたって』「用紙について」を 参照してください。
何度も用紙がつまる。	ー度印刷した用紙を使用 しています。	当社推奨の用紙を使用してください。詳 しくは、『本機のご利用にあたって』「用 紙について」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
用紙にシワがよる。	用紙に湿気が含まれてい ます。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用 してください。詳しくは、『本機のご利 用にあたって』「用紙について」を参照 してください。
用紙にシワがよる。	用紙が薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。詳 しくは、『本機のご利用にあたって』「用 紙について」を参照してください。
印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで 時間がかかる。	データの量が多いため、 処理に時間がかかってい る場合があります。	データインランプ�が点滅していれば、 プリンターにデータは届いています。そ のまましばらくお待ちください。
印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで 時間がかかる。	「オフモード/スリープ モード」になっている可 能性があります。	「オフモード/スリープモード」になっ ていると、ウォームアップをするため、 印刷を開始するまで時間がかかります。 「オフモード/スリープモード」は、シ ステム初期設定の[オートオフ時間設 定]で設定できます。
印刷に時間がかかる。	写真やグラフを多用した データなど、データの種 類によってはパソコンの 処理に時間がかかる場合 があります。	そのまま少しお待ちください。 プリンタードライバーで次の設定をする とパソコンの負担が軽減することがあり ます。 ・プリンタードライバーの [印刷品質] タブの [画質と速度のバランス] を「速 度優先」にする。 ・プリンタードライバーの [印刷品質] タブから [印刷品質-ユーザー設定] ダ イアログを表示し、[画質調整] タブで [解像度] を一番低い値に設定する。 詳しくはプリンタードライバーのヘルプ を参照してください。
印刷に時間がかかる	データが大きいためにプ リンター側の処理に時間 がかかっている場合があ ります。	データインランプ�が点滅していれば、 プリンターにデータは届いています。そ のまましばらくお待ちください。
両面印刷ができない。	手差しトレイに用紙を セットしています。	両面印刷を行う場合は、手差しトレイ 以 外 の給紙トレイにセットした用紙を給紙 するよう指定し直してください。
両面印刷ができない。	105g/m ² を超える厚紙を セットしています。	印刷する用紙を変更してください。
両面印刷ができない。	システム初期設定の用紙 設定で「両面印刷の対象」 を「対象外」に設定した トレイは両面印刷できま せん。	システム初期設定の用紙設定で「両面印 刷の対象」を「対象」に設定し直してく ださい。詳しくは、『初期設定編』「シス テム初期設定」を参照してください。

その他のトラブルシューティング

状態	原因	対処方法と参照先
1ページの途中で排紙さ れ、1ページのデータが2 ページにまたがって印刷 されてしまう。	プリンター初期設定の[自 動排紙時間]の設定が短す ぎる可能性があります。	プリンター初期設定の[自動排紙時間] の設定を[自動排紙しない]、または現 在の設定より長い時間に設定してくださ い。詳しくは、『初期設定編』「システム 設定(EM)」を参照してください。
パソコンから印刷指示を したが、印刷されない。	ユーザーコード管理を設 定している可能性があり ます。	 ・管理者にユーザーコードを確認してください。 確認したユーザーコードは、印刷するときにプリンタードライバーで指定する必要があります。 プリンタードライバーの[初期設定]タブの[ユーザーコード]をクリックして表示される画面に入力します。 ・PostScript3 印刷時には、[システム設定]の[優先エミュレーション/プログラム]を「PS3」に設定してください。
PDF ダイレクト印刷が実 行できない(PDF ファイ ルが印刷されない)。	PDF ファイルにパスワー ドがかかっています。	パスワードが設定されている PDF ファ イルを印刷する場合は、PDF 設定メ ニュー、または Web Image Monitor で、 PDF ファイルのパスワードを設定してく ださい。 ・ PDF 設定メニューについては、『初期設 定編』「PDF 設定」を参照してください。 ・ Web Image Monitor についてはヘルプ を参照してください。
PDF ダイレクト印刷が実 行できない(PDF ファイ ルが印刷されない)。	PDF ファイルのセキュリ ティの設定で、印刷が許 可されていない PDF ファ イルは印刷できません。	PDF ファイルのセキュリティの設定を変 更してください。
PDF ダイレクト印刷が実 行できない(PDF ファイ ルが印刷されない)。	高圧縮 PDF 形式の PDF ファイルを、PDF ダイレク ト機能を搭載しているプリ ンター機器へ転送し、印刷 することはできません。	アプリケーションを開いてドライバー経 由で印刷してください。ファイル形式を 通常の PDF に選択してください。
PDF ダイレクト印刷を実 行したが、文字が正しく 表示されない。	フォントが埋め込まれて いません。	印刷する PDF ファイルにフォントを埋 め込んでから、印刷してください。
Bluetooth を使用した印刷 が遅い。	送信するジョブが多すぎ ます。	送信するジョブを減らしてください。

状態	原因	対処方法と参照先
Bluetooth を使用した印刷 が遅い。	 ・通信障害が発生している可能性があります。 ・IEEE802.11b (無線 LAN)機器と干渉した場合、通信速度などに影響を及ぼすことがあります。 ・Bluetooth 接続の場合、送信速度はあまり速くありません。 	 IEEE802.11b(無線LAN)機器や他のBluetooth 機器が動作していないか確認してください。 本機またはパソコンを移動させてくだ さい。

それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に確認してください。

5. スキャナー機能がうまく使えな いとき

スキャナー機能がうまく使えないときの原因と対処方法について説明します。

思いどおりに読み取れないとき

思いどおりに読み取れないときの原因と対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
読み取ったイメージが汚れる。	原稿ガラス、原稿カバー、 自動原稿送り装置(ADF) が汚れています。	原稿ガラス、原稿カバー、自動原稿送 り装置(ADF)を清掃してください。 詳しくは、P.144 「清掃のしかた」を 参照してください。
イメージがゆがむ、ずれる。	読み取り中に原稿が動きま した。	読み取り中は原稿を動かさないでくだ さい。
イメージがゆがむ、ずれる。	原稿が原稿ガラスから浮き 上がりました。	原稿を原稿ガラスに十分押し当ててく ださい。
イメージの向きが正しくない。	原稿の向きが上下逆または 左右逆にセットされました。	原稿の向きを正しくセットしてくださ い。詳しくは、『スキャナー機能編』「原 稿セット方向」を参照してください。
イメージが読み取られない。	原稿の表と裏が逆にセット されました。	原稿ガラスにセットするときは、読み 取りたい面を下に向け、自動原稿送り 装置(ADF)にセットするときは、読 み取りたい面を上に向けてください。 詳しくは、『スキャナー機能編』「原稿 セット方向」を参照してください。
イメージが回転して読み取 られる。	原稿の上辺が奥側になる向 きにセットした場合、フル カラー / グレースケールの画 像を TIFF、または JPEG 形 式で保存すると、イメージ が回転して読み取られます。	自動原稿送り装置(ADF)にセットす るときは、原稿の上辺からセットして ください。 詳しくは、『スキャナー機能編』「原稿 セット方向」を参照してください。
余白部分に 1 ページ前の原 稿が読み取られる。	ADF 使用時にセットした原 稿サイズと読み取りサイズ が異なるときは、正常に読 み取りできない場合があり ます。	原稿を原稿ガラスで読み取ってくださ い。ADF 使用時にはサイズ混載機能 を利用してください。詳しくは、『ス キャナー機能編』「読み取りサイズ」 を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
読み取ったイメージに余白 がつく。	 ネットワーク TWAIN 以外の機能で原稿を読み取った場合、用紙サイズ、解像度などの設定によっては余白がつき、指定した読み取りサイズよりもイメージが大きくなることがあります。 オプションの拡張データ変換ボードをつけていると、余白が大きくなることがあります。 	解像度を上げて原稿を読み取ることで 軽減される場合もあります。

ネットワーク配信やメール送信が思い どおりにできない

ネットワーク配信やメール送信がうまくいかないときの原因と対処方法について説明します。

文書にアクセスできない

文書にアクセスできないときの原因と対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
文書がロックされ、アクセ スできない。	パスワードで保護された文 書に対して、誤ったパス ワードを 10 回入力したた めに、文書がロックされて います。	文書のロック状態を解除する方法につ いては、管理者に確認してください。

ファイル送信時にネットワーク参照ができない

ファイル送信時にネットワーク参照ができないときの原因と対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
送信先フォルダーを選択す る際に、ネットワーク参照 ができない。	本機の以下の設定が正しく 設定されていない可能性が あります。 ・IPv4 アドレス ・サブネットマスク	設定内容を確認してください。詳しく は、『初期設定編』「ネットワークの設 定」を参照してください。

TWAIN ドライバーが起動しない

TWAIN ドライバーが起動しないときの原因と対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
スキャナーコントロールダ イアログが表示されない。	セキュリティ強化機能で高 度な暗号化が設定されてい ます。	セキュリティ強化機能の設定につい て、管理者に確認してください。

蓄積文書を編集できない

蓄積文書を編集できないときの原因と対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
蓄積文書を消去できない、 文書名・パスワードを変更 できない、文書の再配信が できない。	セキュリティ強化機能で利 用制限をしています。	管理者に確認してください。

ネットワーク配信機能が使用できない

ネットワーク配信機能が使用できないときの原因と対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
ネットワーク配信機能が使 用できない。	配信ソフトが古いバージョ ンであるか、セキュリティ の設定がされている可能性 があります。	管理者に確認してください。
ネットワーク配信機能が使 用できない。	ネットワーク配信として使 用するための設定が正しく されていません。	ネットワーク配信の設定を確認してく ださい。詳しくは、『初期設定編』 「ネットワーク配信機能を使うには」 を参照してください。

メッセージが表示され操作ができない

メッセージが表示され操作ができないときの原因と対処方法について説明します。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
宛先表/機器設定が更新さ れました。すでに選択され ている宛先および機能は解 除されます。もう一度選択 しなおしてください。	Network Monitor for Admin を使って、ネットワーク上 から宛先登録を実行してい ます。メッセージが表示さ れているときは、操作がで きません。登録する宛先の 数によってはしばらく操作 できないことがあります。	メッセージが消えるまでお待ちくださ い。また、メッセージが表示されてい る間は、主電源スイッチを「Off」に しないでください。

メッセージが表示されたとき

メッセージが表示されたときの原因と対処方法について説明します。

操作部の画面にエラーメッセージが表示されたとき

操作部の画面にエラーメッセージが表示されたときの原因と対処方法について説明します。

☆ 重要

 ・ここで示されていないエラーメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがって 対処してください。それでもメッセージが消えないときは、エラー内容とエラー番号(表 示されている場合)をサービス実施店に連絡してください。主電源の切りかたは、『本機 のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で行なってく ださい。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
一度に選択できる文書は nnn 件までです。これ以上 は同時に選択できません。 (n には数字が入ります)	選択できる文書数の上限を 超えています。	上限を超えて蓄積文書を配信すると きは、複数回に分けて配信してくだ さい。定時間後、再送信します。
LDAP サーバーとの接続に 失敗しました。 LDAP サーバーの動作状況 や接続を確認してください。	LDAP サーバーへの接続時 にネットワーク上のエラー が発生しました。	もう一度接続し直しても同じメッ セージが表示されるときは、ネット ワークの混雑が原因として考えられ ます。 または、システム初期設定の設定情 報を確認してください。詳しくは、 『初期設定編』「システム初期設定」 を参照してください。
LDAP サーバーとの認証に 失敗しました。 設定内容を確認してください。	ユーザー名、パスワードが LDAP 認証で設定したもの と異なっています。	管理者に確認してください。
宛先表が更新されました。 すでに選択されている宛先 /送信者名は解除されます。 もう一度選択しなおしてく ださい。	配信サーバーの一覧表更新 により、選択した宛先/送 信者名がクリアされました。	再度宛先/送信者名の選択をしてく ださい。
ー度に選択できる宛先は nnn 件までです。 (n には数字が入ります)	選択できる宛先数の上限を 超えています。	上限を超えて配信またはメール送信 するときは、複数回に分けて配信ま たはメール送信してください。
ー度に選択できるフォルダー 宛先は nnn 件までです。 (n には数字が入ります)	選択できるフォルダー宛先 数の上限を超えています。	上限を超えてファイル送信するとき は、複数回に分けてファイル送信し てください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
一度に選択できる直接入力さ れた宛先は nnn 件までです。 (n には数字が入ります)	選択できる直接入力された 宛先数および LDAP サー バーによる宛先数の上限を 超えています。	上限を超えてファイル送信または メール送信するときは、複数回に分 けて送信してください。
宛先表の更新に失敗しました。 もう一度実行しますか?	ネットワーク上にエラーが 発生しています。	サーバー側の接続を確認してください。
宛先表を更新しています。 しばらくおまちください。 すでに宛先/送信者名が選 択されていた場合は、この 表示が消えた後に選択しな おしてください。	宛先表が更新されています。	すでに宛先 / 送信者名が選択されて いた場合は、この表示が消えた後に 選択し直してください。
ー度に送信できる文書数を 超えています。 選択している文書数を減ら してください。	送信できる文書数の上限を 超えています。	送信する文書の数を減らしてから送 信し直してください。
検索結果が表示可能な件数 を超えました。 一度に表示できる検索結果 は nnn 件までです。 (n には数字が入ります)	検索結果が表示可能な件数 を超えています。	検索条件を変えてから、再度検索し てください。
この機能を利用する権限は ありません。	機能を使う権限が設定され ていません。	管理者に確認してください。
最大送信待機文書数を超え ました。 現在の文書が送信されるまで、 しばらくおまちください。	最大送信待機文書数の上限 に達しました。	メール送信、ファイル送信、配信の 送信待機文書が 100 文書あります。 これ以上追加できませんので、文書 が送信されるまでしばらくお待ちく ださい。
指定時間内に検索できませ んでした。 LDAP サーバーの動作状況 や接続を確認してください。	LDAP サーバーへの接続時 にネットワーク上のエラー が発生しました。	もう一度接続し直しても同じメッ セージが表示されるときは、ネット ワークの混雑が原因として考えられ ます。 または、システム初期設定の設定情 報を確認してください。詳しくは、 『初期設定編』「システム初期設定」 を参照してください。
指定したグループにはアク セス権がない宛先が含まれ ています。 グループに登録されている アクセス権のある宛先のみ 選択しますか?	グループにメール送信の宛 先とファイル送信の宛先が 混在しています。	メール送信の宛先を選択したい場合 は、メール送信画面で表示された警 告に対し[選択]を選択してくださ い。ファイル送信の宛先を選択した い場合、ファイル送信画面で、表示 された警告に対し[選択]を選択し てください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
指定したパスは見つかりま せん。 設定内容を確認してください。	送信先のコンピューター名 またはフォルダー名が間 違っています。	送信先のコンピューター名または フォルダー名が正しいかを確認して ください。
指定できるパスの最大文字 数を超えました。	指定できるパスの最大文字 数を超えています。	入力できるパスの最大文字数につい ては、『スキャナー機能編』「送信機 能」を参照してください。入力した パスを確認して、再度入力してくだ さい。
選択された文書にアクセス 権のない文書が含まれてい ました。 アクセス権のある文書のみ 消去されます。	削除する権限のない文書を 削除しようとしました。	文書管理者が削除することができま す。削除する権限のない文書を削除 したいときは、管理者に確認してく ださい。
選択された文書に使用中の ものが含まれていました。 使用中の文書は消去できま せんでした。	送信状態が「待機中」と なっている文書は消去でき ません。	送信中止を行い、「待機中」状態を解除 してから消去してください。
選択された文書には送信中 のものが含まれています。 これらの文書は中止できま せんでした。	使用中の文書は中止できま せん。	配信 / 送信中止できるのは、待機中 の文書だけです。配信 / 送信状況が 配信中、完了、不達、中止の文書は 配信 / 送信中止できません。
選択されている文書は使用 中です。 文書名を変更できません。	送信状態が「待機中」と なっている文書の文書名は 変更できません。	送信中止を行い、「待機中」状態を解 除してから文書名を変更してくださ い。
選択されている文書は使用 中です。 パスワードを変更できません。	送信状態が「待機中」と なっている文書のパスワー ドは変更できません。	送信中止を行い、「待機中」状態を解 除してからパスワードを変更してく ださい。
選択されている文書は使用 中です。 ユーザー名を変更できません。	送信状態が「待機中」と なっている文書のユーザー 名は変更できません。	送信中止を行い、「待機中」状態を解 除してからユーザー名を変更してく ださい。
送信先との接続に失敗しま した。 動作状況や接続を確認して ください。[送信結果/中 止] キーを押すと送信先を 確認できます。	ネットワークの設定が正し くありません。	 ・クライアントコンピューター側の ネットワーク設定を確認してくだ さい。 ・LAN ケーブルなどが正しく接続さ れているか確認してください。 ・サーバー側の設定や動作が正しい か確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
送信先との認証に失敗しま した。 設定を確認してください。 [送信結果/中止] キーを押 すと送信先を確認できます。	ユーザー名、パスワードが 正しくありません。	 ・SMTP認証のユーザー名とパスワードが正しいかを確認してください。 ・送信先フォルダーの ID、パスワードが正しいかを確認してください。 ・登録できるパスワードの文字数は128 文字までです。128 文字以内で設定し直してください。
送信者が指定されていません。 送信者を指定してください。	-	メール送信をするには、送信者の指 定が必要です。 送信者を指定してから送信してくだ さい。
送信できるメールサイズの 上限に達したため、送信を 中止しました。 [スキャナー初期設定] で 送信できるメールサイズを 確認してください。	送信できるメールサイズの 上限に達しました。	 ・[送信メールサイズ制限]のサイズ を増やしてください。 ・[メールサイズ制限オーバー時分 割]を[する(ページごと)]、また は[する(最大サイズ)]のいずれ かに設定してください。 詳しくは、『初期設定編』「送信設定」 を参照してください。
送信に失敗しました。 [送信結果/中止] キーを押 すと送信先を確認できます。	送信時にネットワーク上の エラーが発生し、正しく送 信できませんでした。	読み取ったデータは消去されました ので、もう一度読み取り直してくだ さい。 読み取り直しても同じメッセージが 表示されるときは、ネットワークの 混雑が原因として考えられますので、 ネットワーク管理者に確認してくだ さい。 複数の文書を送信していたときは、 送信結果 / 中止画面を表示させて、 どの文書が送信されなかったのか確 認してください。詳しくは、『スキャ ナー機能編』「送信結果確認画面につ いて」を参照してください。
送信に失敗しました。 送信先のハードディスクに 空き容量がありません。[送 信結果/中止] キーを押す と送信先を確認できます。	SMTP サーバー、FTP サー バー、あるいは送信先クラ イアントコンピューター側 のハードディスクの容量が 少なくて送信できませんで した。	必要な空き容量を確保してください。
送信バッファが満杯のた め、送信を中止しました。 しばらくしてから送信しな おしてください。	送信待機中の文書が多いた め、送信を中止しました。	待機中の文書の送信が完了してから、 送信し直してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
蓄積中の文書が1文書あた りのページ数の限界に達し ました。 読み取った分までを1つの 文書として蓄積しますか?	蓄積中の文書が1文書あた りのページ数の限界に達し ました。	読み取り済みの文書を蓄積するかど うか指定してください。読み取れな かったページは、別の文書としても う一度読み取り直してください。詳 しくは、『スキャナー機能編』「ス キャナー機能を使って文書を蓄積す る」を参照してください。
蓄積できる最大文書数を超 えました。 不要になった蓄積文書を消 去してください。	蓄積できる最大文書数を超 えています。	蓄積できる文書数については、『ス キャナー機能編』「蓄積機能」を参照 してください。送信する文書の数を 減らすか、不要な蓄積文書を消去し てください。
畜債できる取入又責奴を超 えました。 文書管理用の文書が作成でき ないため、送信できません。	畜傾できる取入又青奴を超 えています。	畜債できる文書数については、『ス キャナー機能編』「蓄積機能」を参照 してください。送信する文書の数を 減らすか、不要な蓄積文書を消去し てください。
ドキュメントボックス全体 で一度に使用できる蓄積文 書数を超えています。	ドキュメントボックス全体 で一度に使用できる蓄積文 書数を超えています。	蓄積した文書を確認し、不要な蓄積 文書を消去してください。詳しくは、 『コピー機能 / ドキュメントボックス 機能編』「ドキュメントボックスの操 作」または『スキャナー機能編』「蓄 積機能」を参照してください。
入力した宛先保護コードは 正しくありません。 もう一度入力しなおしてく ださい。	入力した宛先保護コードが 間違っています。	宛先保護コードの設定を確認して、 再度入力してください。詳しくは、 『初期設定編』「認証保護について」 を参照してください。
入力したパスワードは正し くありません。もう一度入 力してください。	入力したパスワードが間 違っています。	認証設定を確認して、正しいパス ワードを設定してください。
入力できる最大文字数を超 えました。	入力できる最大文字数を超 えています。	入力できる最大文字数を確認して、 再度入力してください。詳しくは、 『スキャナー機能編』「送信 / 蓄積 / 配 信機能の各設定項目の値」を参照し てください。
認証に失敗しました。	ログインユーザー名または ログインパスワードが間 違っています。	ログインユーザー名またはログイン パスワードを確認してください。 実機が認証できない状況になってい ます。管理者に確認してください。
パスの形式が正しくありま せん。 もう一度入力しなおしてく ださい。	パスの形式が正しくありま せん。	送信先のコンピューターとパスの形式 を確認して、再度入力してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
文書管理用の文書が 1 文書 あたりのページ数の限界に達 したため、送信できません。	文書管理用の文書が 1 文書 あたりのページ数の限界に 達しました。	送信するページ数を減らしてから送 信し直してください。 1 文書あたり管理できるページ数に ついては、『スキャナー機能編』「蓄 積機能」を参照してください。
他の機能で原稿読み取り中 です。おまちください。 [コピー] [ドキュメント ボックス]	本機が、コピーなどのス キャナー以外の機能で使用 されています。	他の機能での操作を終えてから原稿 を読み取ってください。
メールアドレスの形式が正 しくありません。 もう一度入力し直してくだ さい。	入力したメールアドレスが 間違っています。	相手先のメールアドレスを確認して、 再度入力してください。
メモリーの容量が限界に達 しました。 読み取りを続行できません。 読み取り済みのデータを送 信しますか? 送信を中止すると、読み 取ったデータは消去され、 蓄積されません。	メール送信、ファイル送 信、または配信と蓄積を同 時に行ったとき、本機の ハードディスク容量が足り ないため、途中のページま でしか読み取りできません でした。	読み取り済みの文書を配信・蓄積す るかどうか選択してください。
メモリーの容量が限界に達 しました。 読み取りを続行できません。 読み取り済みのデータを送 信しますか? 送信を中止すると、読み取っ たデータは消去されます。	メール送信時、ファイル送 信時、または配信時本機の ハードディスク容量が足り ないため、途中のページま でしか読み取りできません でした。	読み取り済みの文書を配信または メール送信するかどうか選択してく ださい。
メモリーの容量が限界に達 しました。 読み取りを中止して、読み 取り済みのデータを消去し ます。	本機のハードディスク容量 が足りないため、1 ページ 目を読み取りできませんで した。	次の対処方法を試してください。 ・しばらく待ってから読み取り直し てください。 ・解像度を下げて、読み取りデータを 小さくしてください。詳しくは、『ス キャナー機能編』「読み取り条件の 設定項目」を参照してください。 ・不要な蓄積文書を削除してくださ い。詳しくは、『スキャナー機能編』 「蓄積文書を消去する」を参照して ください。
メモリーの容量が限界に達 しました。すでに読み取っ た文書を蓄積しますか?	蓄積時、本機のハードディ スク容量が足りないため、 途中のページまでしか読み 取りできませんでした。	読み取り済みの文書を蓄積するかど うか選択してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
読み取りデータが大きすぎ ます。 解像度を確認し、原稿を nn 枚戻してください。 (n には数字が入ります。)	読み取った原稿が大きすぎ ます。	読み取りサイズと解像度を指定し直 してください。大きなサイズの原稿 を高解像度で読み取る場合、読み取 りできないことがあります。詳しく は、『スキャナー機能編』「解像度と 読み取りサイズの関係」を参照して ください。
読み取りデータが大きすぎ ます。 解像度を確認し、再スター トしてください。	読み取ったデータが大きす ぎます。	読み取りサイズと解像度を指定し直 してください。大きなサイズの原稿 を高解像度で読み取る場合、読み取 りできないことがあります。詳しく は、『スキャナー機能編』「解像度と 読み取りサイズの関係」を参照して ください。
読み取りページ数の限界に 達しました。 読み取り済みのデータを送 信しますか? 送信を中止すると、読み取っ たデータは消去されます。	読み取ったページ数が上限 を超えています。	ここまでのデータを送信するかどう か選択してください。
この原稿サイズは両面読み 取りできません。	両面読み取りできないサイズ の原稿がセットされました。	ADF 使用時は、A2D、B3D、B6Dの 原稿は両面読み取りできません。原 稿ガラスを使用するか、片面読み取 りを行ってください。

₿ 参照

・『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」

クライアントコンピューターにエラーメッセージが 表示されたとき

TWAIN ドライバーを使用しているとき、クライアントコンピューターに表示されるおもな エラーメッセージの原因と対処方法です。

★ 重要

 ・ここで示されていないエラーメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがって 対処してください。それでもメッセージが消えないときは、エラー内容とエラー番号(表 示されている場合)をサービス実施店に連絡してください。主電源の切りかたは、『本機 のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で行なってく ださい。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ADF で紙づまりが発生しました。	自動原稿送り装置(ADF)で 紙づまりが発生しています。	紙づまりを起こした原稿を取り除い てください。 ミスフィードした場合は、原稿を元 にもどしてください。 使用している原稿が本機で読み取り 可能なものか確認してください。
Winsock のバーションか不 適切です。ver1.1 以上をお 使いください。	Winsock のハーションか不 適切です。	コンピューターのオペレーティング システムを再インストールするか、 オペレーティングシステムの CD-ROM から Winsock をコピーして ください。
同じ名称が存在します。登 録されている名称を確認し てください。	すでに使用されている名称 で登録しようとしています。	別名で名称を登録してください。
原稿のサイズがわかりませ ん。読み取りサイズを設定 してください。	セットした原稿がずれてい ます。	 ・原稿を正しくセットし直してください。 ・読み取りサイズを設定してください。 ・原稿ガラスで読み取るときは、自動原稿送り装置(ADF)の開閉で原稿サイズが検知されます。30度以上の角度で確実に開けてください。
これ以上読み取りモードを 登録できません。	登録できる読み取りモード の上限を超えています。	登録できる読取モードは 100 個まで です。不要な読取モードを削除して ください。
これ以上読み取りエリアを 登録できません。	登録できる読み取領域の上 限を超えています。	登録できる読取領域は 100 個までで す。不要な読取領域を削除してくだ さい。
< サービスコール > お手 数ですがサービスにご連絡 ください。	本機に、復帰不可能なエ ラーが発生しています。	サービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
指定された装置は、スキャ ナーが使用できません。	本機では TWAIN スキャナー 機能が使用できません。	サービス実施店に連絡してください。
スキャナーが使用できませ ん。スキャナーの接続状態 を確認してください。	 本機の主電源が「Off」になっています。 本機が正しくネットワークに接続されていません。 	 本機の主電源スイッチを「On」にしてください。 本機が正しくネットワークに接続されているか確認してください。 クライアントコンピューターのパーソナルファイアーウォール機能を解除してください。 本機のプロトコルの設定がSNMPV1/V2になっていることを、telnetなどから確認してください。 詳しくは、『初期設定編』「ネットワークガイド』「telnetを使う」を参照してください。
スキャナーが見つかりませ ん。スキャナーの電源を確 かめてください。	本機の主電源スイッチが 「Off」になっています。	電源プラグがコンセントに確実に差 し込まれていることを確認した後、 主電源スイッチを「On」にしてくだ さい。
スキャナーから応答があり ません。	本機またはクライアントコ ンピューターが、正しく ネットワークに接続されて いません。	 ・本機が正しくネットワークに接続 されているか確認してください。 ・クライアントコンピューターの パーソナルファイアーウォール機 能を解除してください。
スキャナーから応答があり ません。	ネットワークが混み合って います。	しばらく待ってから接続し直してく ださい。
スキャナーでエラーが発生 しました。	アプリケーションで指定し た読み取り条件が、本機の 設定範囲を超えています。	アプリケーションで指定した読み取 り条件が、本機の設定範囲を超えて いないか確認してください。
スキャナーで復旧不可能な エラーが発生しました。	本機に、復旧不可能なエ ラーが発生しています。	エラーメッセージとエラー番号を サービス実施店に連絡してください。
スキャナーに接続できませ ん。ネットワークのアクセ スマスクの設定を確認して ください。	アクセスマスクが設定され ています。	ネットワークまたはスキャナーの管 理者に確認してください。
スキャナーの準備ができて いません。スキャナー及び オプションを点検してくだ さい。	自動原稿送り装置(ADF) のカバーが開いています。	自動原稿送り装置(ADF)のカバー を閉じてください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
スキャナーのメモリーが足 りません。読み取りエリア を小さくしてください。	スキャナーのメモリーが足 りません。	 ・読み取りサイズを設定し直してください。 ・解像度を下げてください。 ・[圧縮しない]に設定してください。 む、設定のしかたについては TWAIN ドライバーのヘルプを参照してください。 次のような場合もあります。 ・ヘルプの「解像度と読み取り領域の関係」の表は、白黒 2 値 (ハーフトーン)に設定したときは当てはまりません。ハーフトーンや高解像度で、明るさなどを大きな値に設定すると読み取れない場合があります。 詳しくは、『スキャナー機能編』「解像度と読み取りサイズの関係」を参照してください。
前回使用していたスキャ ナー "XXX" が見つかりませ ん。別のスキャナー "YYY" で起動します。 (XXX、YYY は任意のスキャ ナー名を示します。)	 前回使用していたス キャナーの主電源が 入っていません。 ネットワークに正しく 接続されていません。 	 前回使用していたスキャナーの主 電源が「On」になっているか確認 してください。 前回使用していたスキャナーが正 しくネットワークに接続されてい るか確認してください。 クライアントコンピューターの パーソナルファイアーウォール機 能を解除してください。 本 機 の プ ロ ト コ ル の 設 定 が SNMPV1/V2 になっていることを、 telnet などから確認してください。 詳しくは、『初期設定編』「ネット ワークの設定」、『ネットワークガイ ド』「telnet を使う」を参照してく ださい。 前回使用していたスキャナーを選 択し直してください。
ドライバー内部でエラーが 発生しました。	ドライバー内部でエラーが 発生しています。	 ・ネットワークケーブルがクライア ントコンピューターに正しく接続 されているか確認してください。 ・クライアントコンピューターの イーサネットボードが Windows に 正しく認識されているか確認して ください。 ・お使いのクライアントコンピュー ターが TCP/IP プロトコルを使用で きる環境であることを確認してく ださい。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ネットワーク上で通信エ ラーが発生しました。	ネットワーク上で通信エ ラーが発生しています。	コンピューターの通信プロトコル (TCP/IP)の設定が正しいか確認して ください。
他の機能でスキャナーが使 われています。しばらくお 待ちください。	本機がコピーなどスキャ ナー以外の機能で使用され ています。	しばらく待ってから接続し直してく ださい。
メモリーが不足していま す。他のアプリケーション を終了してからやり直して ください。	他のアプリケーションを使 用しているためメモリーが 不足しています。	 ・クライアントコンピューターで起動している不要なアプリケーションを終了させてください。 ・TWAINドライバーをアンインストールし、PC 再起動後に再度 TWAINドライバーをインストールし直してください。
ユーザーコードが登録され ていません。管理者に問い 合わせてください。	ユーザーコードによってア クセスが制限されています。	管理者に確認してください。
ログインユーザー名、ログ インパスワード、ドライ バー暗号鍵のいずれかが 誤っています。	ログインユーザー名、ログ インパスワード、ドライ バー暗号鍵のいずれかが 誤っています。	 ・ログインユーザー名、ログインパス ワードまたはドライバー暗号鍵を 確認してください。 ・機能を使う権限が設定されていま せん。管理者に確認してください。
スキャナーのアドレス帳が いっぱいのため、ユーザー を登録できません。	外部認証サーバーで認証す るときに、機器本体のアド レス帳に空きがなく、ユー ザーをコピーできず認証に 失敗しました。	管理者に確認してください。
スキャナーのアドレス帳に同 ーユーザーが登録済みです。	外部認証サーバーでの認証 時に、機器本体のアドレス 帳へユーザーをコピーしよ うとしたら、すでに登録さ れているため認証に失敗し ました。	管理者に確認してください。

日参照

・『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」

6. 用紙やトナーなどがなくなった とき

各機能に共通のトラブルについて説明します。

用紙がなくなったとき

用紙がなくなったときの対応について説明します。

↓ 補足

- ・複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をパラパラとほぐしてから セットしてください。
- ・カールしている用紙、そりのある用紙は直してからセットしてください。
- ・給紙トレイにセットできる用紙については、『本機のご利用にあたって』「用紙について」
 を参照してください。
- ・手差しトレイに用紙をセットするときは、『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』 「手差しコピー」を参照してください。

日参照

- ・『本機のご利用にあたって』「用紙について」
- ・『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「手差しコピー」

給紙トレイ1、2に用紙をセットするとき

ここでは、トレイ2に用紙をセットする方法を例に説明します。

★ 重要

- ・各給紙トレイには、サイドフェンスやバックフェンスの位置を変更して、いろいろなサイズの用紙をセットすることができます。用紙サイズを変更するときは、「用紙サイズを変更するとき」を参照してください。
- ・セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。
 - ✔ 用紙補給が指示された給紙トレイをいっぱいに引き出します。
 - 2 解除レバーを押さえながらサイドフェンスを開きます。



3 用紙をそろえてセットします。



4 解除レバーを押さえながらサイドフェンスをセットした用紙のサイズに 合わせます。



5 給紙トレイを元に戻します。

● 補足

・用紙サイズ表示にないサイズの用紙をセットしたときは、操作部で用紙サイズを設定す る必要があります。用紙サイズを設定するときは、「用紙サイズ表示にないサイズを設定 するとき」を参照してください。

E 参照

- •P111 「用紙サイズを変更するとき」
- ・P.114 「用紙サイズ表示にないサイズを設定するとき」

給紙トレイ3から5に用紙をセットするとき

サイド固定レバーがあるトレイに用紙をセットする方法について説明します。

★ 重要

- ・各給紙トレイには、サイドフェンスやバックフェンスの位置を変更して、いろいろなサイズの用紙をセットすることができます。用紙サイズを変更するときは、「用紙サイズを変更するとき」を参照してください。
- ・セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。
 - ✔ 用紙補給が指示された給紙トレイをいっぱいに引き出します。
 - 2 サイド固定レバーを解除します。



3 解除レバーを押さえながらサイドフェンスを開きます。


4 用紙をそろえてセットします。



5 解除レバーを押さえながらサイドフェンスをセットした用紙のサイズに 合わせます。







7 給紙トレイを元に戻します。

日参照

・P.111 「用紙サイズを変更するとき」

トレーシングペーパー(第二原図用紙)をセットす るとき

トレーシングペーパー(第二原図用紙)をセットする方法について説明します。 トレーシングペーパー(第二原図用紙)は外気に触れている時間が長いとカールが大きく なります。カールしてしまったトレーシングペーパー(第二原図用紙)をそのままコピー すると、紙づまりの原因となります。また、除湿ヒーターやサイドガイドのつめを備えた トレイ5にセットすることをお勧めします。次のように対処してください。

↓ トレーシングペーパー(第二原図用紙)をトレイ5にセットします。



2 トレーシングペーパー(第二原図用紙)のカールしている部分を手で押 さえ、用紙の浮きができるだけ小さくなるようにしてください。



3 それでもカールが大きいときは、1番上にセットされているトレーシング ペーパー(第二原図用紙)を取り除いてください。

↓ 補足

トレーシングペーパーを使用しないときは、サイドガイドのつめを取り外すことができます。外したつめは、トレイ手前の左コーナーに収納できます。

天地の向き・表裏のある用紙(レターヘッド紙)

天地の向き・表裏のある用紙(レターヘッド紙)について説明します。 レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、原稿のセット、用 紙のセットの組み合わせによって、正しくコピーされないことがあります。コピー初期設 定の「レターヘッド紙使用設定」で「使用する」に設定し、次のように原稿、用紙をセッ トしてください。詳しくは、『初期設定編』「周辺設定」を参照してください。 プリンター機能で印刷するときも用紙のセット方向は同じです。

◆ 原稿のセット方向



◆ 用紙のセット方向



AUR021D

♥ 補足

•[システム初期設定]で使用する給紙トレイの「用紙種類設定」をレターヘッドに設定してください。詳しくは、『初期設定編』「用紙設定」を参照してください。

日参照

- •『初期設定編』「周辺設定」
- •『初期設定編』「用紙設定」

用紙サイズを変更するとき

用紙サイズを変更する方法について説明します。

用紙サイズの変更方法は、給紙トレイによって異なります。給紙トレイを確認し、変更し てください。

↓ 補足

- ・用紙のサイズを変更したときは、サイズ表示と初期設定値の変更を正しく行ってください。用紙がつまることがあります。詳しくは、『初期設定編』「用紙設定」を参照してください。
- ・複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をパラパラとほぐしてから セットしてください。
- ・カールしている用紙、そりのある用紙は直してからセットしてください。
- ・セットできる用紙サイズ、種類は『本機のご利用にあたって』「用紙について」を参照し てください。

E 参照

- ・『本機のご利用にあたって』「用紙について」
- ・『初期設定編』「用紙設定」

給紙トレイの用紙サイズを変更するとき

給紙トレイの用紙サイズを変更する方法について説明します。

★重要

・用紙の量が上限表示を超えないようにしてください。

・用紙の先端が右側にそろっていることを確認してください。

- / 給紙トレイの用紙がコピー中でないことを確認し、給紙トレイをいっぱいに引き出します。
- 2 用紙がセットされているときは取り出します。
- **3** 用紙サイズ表示を合わせます。



- AND CONTRACTOR OF CONTRACTOR OF
- 5 トレイ3から5の場合は、サイド固定レバーを解除します。

4 バックフェンスを外し、セットする用紙サイズの位置に差し込みます。





6 解除レバーを押さえながらサイドフェンスを開きます。

AUR010S

/ 用紙をそろえてセットします。



8 解除レバーを押さえながらサイドフェンスをセットする用紙サイズに合わせます。



9 トレイ3から5の場合はサイド固定レバーをロックします。



10 操作部の画面でサイズを確認します。

↓ 補足

・サイドフェンスと用紙に隙間があいているときは、サイドフェンスを用紙の幅に合わせてください。

用紙サイズ表示にないサイズを設定するとき

用紙サイズ表示にないサイズを設定するときの方法について説明します。

✔ 用紙サイズ表示を「★」に合わせます。



2 [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。



3 [システム初期設定]を押します。



4 [用紙設定] タブを押します。



5 用紙サイズを設定したいトレイを選択します。

[用紙サイズ設定:トレイ 1]から[用紙サイズ設定:トレイ 5]のいずれかを押します。

	終了	
129-71 設定	-7、 77/4転送 管理者用 設定 設定	
	用紙サイズ設定:トレイ1 A4日	
	用紙サイズ設定:トレイ2 A4日	
	用紙サイズ設定:トレイ3 A4₽	
	用紙サイズ設定:トレイ4 A4 □	
	用紙サイズ設定:トレイ5 A4₽	

セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを選択して、[設定]を 押します。



設定した用紙サイズとセット方向が表示されます。

		終了
129-71 設定	-7、 77/小転送 設定 設定	
	用紙サイズ設定:トレイ1	10×14⊡
	用紙サイズ設定:トレイ2	A4D
	用紙サイズ設定:トレイ3	A4D
	用紙サイズ設定:トレイ4	A 4 🖓
	用紙サイズ設定:トレイ5	A 4 🖟

7 [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。 用紙サイズの設定が完了し、通常の画面に戻ります。

トナーがなくなったとき

トナーがなくなったときの対応について説明します。また、トナーの保管のさいの注意事 項を記載しています。

・トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器を火中に 投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。



トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

- トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。
- トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください

6

- ・トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。
 ・トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水で
 - トナーを吸い込んた場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水で よくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の 診察を受けてください。
 - ・トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - ・眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、刺激が残るようであれば 医師の診察を受けてください。
 - ・皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。



・紙づまりの処置やトナー(使用済みトナーを含む)を補給または交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
 ・衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。



・トナー容器を無理に開けないでください。トナーが飛び散った場合、ト ナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

★ 重要

- ・違うタイプのトナーを使うと、故障の原因になります。
- ・電源を入れたままトナーを補給します。電源を切ると設定した内容が取り消され、印刷 またはコピーを再開できません。特に赤トナーの場合は、トナー交換後も補給表示が消 えないことがあります。
- ・トナーは必ず補給表示が出てから補給してください。
- ・操作部に「**山**トナー補給」の画面が表示されたときは、該当する色のトナーを補給して ください。
- ・トナーは直射日光の当たらない、低温で乾燥したところに置いてください。
- ・トナーは、平らなところに置いてください。

● 補足

- 「
 ・「
 はトナーがもうすぐなくなります。」と「トナーを補給してください。」が交互に表示されてから、黒トナーは約 50 枚、赤トナーは約 20 回コピーできますが、コピーがかすれることがありますので早めに交換してください。
- ・黒トナーがなくなると画面に「山トナー補給」が表示され印刷またはコピーできません。
- ・赤トナーがなくなっても、黒色でコピーすることができます。ただし、赤色でコピーまたは2色でコピーすることはできません。
- ・[システム状態]を押すと消耗品発注先の電話番号が確認できます。システム状態については、「本機の状態や設定内容を確認する」を参照してください。

● 参照

・P.11 「本機の状態や設定内容を確認する」

黒トナーを補給する

黒トナーを補給する方法について説明します。

★ 重要

トナーコンテナを取り外した後、トナーコンテナの口を下に向けたまま振らないでください。残ったトナーが飛散することがあります。



·前カバーを開け、緑の 取手を引き上げる。



 緑のレバー(①)を下 に押し、セットされて いるホルダー(②)を 引き出す。



·手前にゆっくり引き 抜く。



 トナーコンテナを奥に 押しつけ(①)、コン テナ頭部を上に向けて (②)静かに取り出す。



·新しいトナーコンテナ を取り出す。



· ホルダーを元の位置に 戻す。

補足

トナーコンテナを乗せていない状態でホルダーを押し込まないでください。ホルダーが破損することがあります。



 ・新しいトナーコンテナ を水平に12~13回振る。
 「捕足」

<u>」 ・</u>キャップは外さないで ください。キャップを 外して振ると、トナー が飛び散ります。



·緑のレバーがカチッと 音がするまで押し込む。



 ・キャップを外す。
 捕足
 ・中ブタは外さないでく ださい。



・緑の取手を元の位置に
 戻し、前カバーを閉める。

捕足

知手が固くて元の位置 に戻せないときは、ホ ルダーをもう一度引き 出し、トナーコンテナ を約90°回してくださ い。その後、再び手順 9~11の操作を行って ください。



 トナーコンテナをホル ダーに乗せて(①)、
 コンテナ頭部を前に押しつける(②)。



赤トナーを補給する

赤トナーを補給する方法について説明します。

★ 重要

- 必ず電源を入れたままトナーを交換してください。電源を切ってトナー交換した場合、トナー補給表示が解除されないことがあります。
- ・赤現像ユニットを取り外す、取り付けるときは、赤現像ユニットを傾けないでください。
 トナーが漏れることがあります。





・前カバーを開け、 赤現像ユニットを手前 に引き出す。



 ・赤現像ユニットを完全 に引き出す。
 捕足
 ・赤現像ローラーには手 を触れないでください。 コピーがきれいにとれ ないことがあります。



・赤現像ユニットを水平 な場所に置き、トナー 補給カバーのつまみね じを反時計回りに9~ 11回回して取り外す。



・トナー補給カバーを開ける(①)。
 ・新しいトナーコンテナを水平に12~13回振り、トナー補給口にトナーコンテナをセットする(②)。



 ・トナーコンテナを赤現 像ユニットから取り外 し(①)、トナー補給カ バーを閉める(②)。



 トナーコンテナの中央部 分を軽く押さえながら、
 開封版を引き出す。



・トナー補給カバーの つまみねじを時計回 りに9~11回回して 取り付ける。



・シール上の赤ラインが

赤現像ユニットを突き
 当たるまで静かに押し
 込み、前カバーを閉める。

・トナーコンテナの上部 を軽くたたき、開封版 を元に戻す。

AUR026D

トナーがなくなったときの送信

本機はトナーがなくなり**ぬ**が表示されているときも、ファクス機能やスキャナー機能で データを送信できます。

☆ 重要

- ・トナーがない状態で行った通信の数と、自動で出力される通信管理レポートに記載され ていない通信の数の合計が 200 通信を超えると、通信ができなくなります。トナーは早 めに補給してください。
 - ↓ ファクスまたはスキャナーの画面が表示されていることを確認します。

2 [確認] を押して、送信の操作をします。 エラー画面が消えます。

↓ 補足

- ・メモリー送信の操作をしても、送信の操作をしたときに出力されるレポートは出力できません。
- ・手順 【で、ファクスまたはスキャナーの画面が表示されていないときは、[ファクス] または [スキャナー] キーを押します。

使用済みトナーについて

使用済みトナーコンテナを廃棄する場合は、トナーが飛び散らないように箱または袋に入 れて保管してください。

保管したトナーコンテナは、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収 • リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチッ ク廃棄物と同様に処理してください。

ステープラーの針がなくなったとき

ステープラーの針の補給方法について説明します。

- 重要
- ・カートリッジは当社製品をお使いください。違うタイプのカートリッジを使うとステー プルされなかったり、針づまりの原因になります。指定のカートリッジをご使用くださ い。詳しくは、『本機のご利用にあたって』を参照してください。



 フィニッシャーの前カ バーを開ける。



 緑のレバーを持って、 カートリッジを静かに 引き抜く。



 カートリッジの両脇を押 さえ、上部ユニットを引 き上げる。



 空になった針ケースを矢 印の方向に外す。



新しい針ケースを「カチッ」 上部ユニットを静かに と音がするまで押し込む。



下ろす。



 リボンを引き出して取り 除く。



 緑のレバーを持ってカー トリッジを差し込み、 「カチッ」と音がするま で押し込む。 フィニッシャーの前力 バーを閉める。

AUR027D

- 補足
- ・カートリッジの両端を押さえても上部ユニットが引き上がらないときは、カートリッジ の針がまだ残っています。針を補給しないでそのまま使用してください。

済スタンプを交換する

済スタンプが薄くなってきたらカートリッジを交換します。

★ 重要

- ・済みスタンプはオプションです。詳しくは、サービス実施店に連絡してください。
- ・カートリッジは本機専用の「リファクススタンプカートリッジタイプ1」をお使いください。
- ・インクの継ぎ足しはしないでください。インクが漏れることがあります。
- ・カートリッジ交換時に、インクで手が汚れることがあります。
 - ✔ 自動原稿送り装置(ADF)の右カバーを開きます。





2 使用済みカートリッジを取り外します。

3 新しいカートリッジをセットします。 カートリッジは金属部が隠れるまで差し込みます。



4 自動原稿送り装置(ADF)の右カバーを閉めます。

キーカウンターをセットするとき

キーカウンターの使い方を説明します。

画面に「キーカウンターをセットしてください。」と表示されたときはキーカウンターをセットしてください。

● 補足

・キーカウンターはオプションです。

キーカウンターをセットする

キーカウンターの使いかたを説明します。

キーカウンター(オプション)を使った利用者制限が設定されていることを確認します。

画面にメッセージが表示されます。

2 キーカウンターを本体にセットします。



↓ 補足

・コピー中にキーカウンターの抜き差しを行わないでください。機械が正常に動作しない 場合があります。

7. 用紙や原稿などがつまったとき

用紙や原稿がつまったときの対応について説明します。

用紙や原稿がつまったとき

用紙や原稿がつまったときの対応について説明します。

⚠注意



・機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指 定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

€ 重要

- 用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が 取り消されます。
- ・用紙は破れないように確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると、再び用紙 がつまったり、故障の原因になります。
- ・続けて何度も用紙がつまるときは、サービス実施店に連絡してください。

↓ 補足

・紙づまりを確認する方法や紙づまりの取り除き方法については、「紙づまりを確認する」、
 「紙づまりを取り除く」を参照してください。

E参照

- ・P.128 「紙づまりを確認する」
- ・P.129 「紙づまりを取り除く」

紙づまりを確認する

用紙や原稿がつまったときは、本体の前カバーの裏側にはってあるシールの説明に従って、 取り除いてください。

操作部に表示されたアルファベットの個所で紙づまりが発生しています。



↓ 取り除きたい箇所のキーを押します。

347用紙ミスフィード	(J013)
下記の個所に用紙がつまっています。 用紙を取り除く手順は、右側の説明を参照してください。	手順を表示する個所を選択してください。
	(B) の処理手順表示
97.7.1A	状態 🕼 ý35-一覧 コピー 2105/10/10 11:40

2 ひとつの操作が終わったら、[次へ] を押します。前の操作をもう一度確認したいときは、[前へ] を押します。

೫ℓ用紙ミスフィード	(J013)
〒2501296/1日時がつきっています。 用紙を取り除く手稿は、石柄の説明を参照してください。	▶月班時差手順(B) 1 2 3 5 6 (B1)レバーを安仁的して、報道ユニット を手前に引き出してください。 第 へ ● 原 6 万 次 ▲
)255kH	(105/10/30 12:50

3 用紙をすべて取り除けたら、開いたカバーなどを元に戻します。

◆ 補足

・紙づまりの個所が同時に複数表示されることがあります。このときは、表示されたすべての場所を確認してください。

紙づまりを取り除く

紙づまりを取り除く手順について説明します。

🗙 重要

- ・機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間をおいて、定着ユニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
- ・定着部の紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでくだ さい。
- ・定着ユニットは取り外さないでください。適正な印刷結果を得られなくなることがあります。

◆ 補足

- ・本体の前カバーの裏側のほか、フィニッシャーの前カバーの裏側などにも用紙がつまったときの取り除き方を説明したシールがあります。
- ・画面の右側に取り除きかたの詳細手順が表示されるときは、説明に従って対処してくだ
 さい。
- ・紙づまりが発生したときは、[システム状態] でも用紙の取り除き手順を確認することが できます。

A が表示されたとき



・右下カバーを開ける。



つまっている用紙を取り除く。



取り除けないときは、
 給紙トレイを引き出して
 用紙を取り除く。



取り除けないときは、
 左右の前カバーを開ける。



Dノブを反時計回りに
 回しながら、用紙を取り除く。



 ・左トレイを装着している ときは、Dノブを反時計 回りに回しながら、出て きた用紙を取り除く。



すべてのカバーを閉じる。

AUR030D

Bが表示されたとき



左右の前カバーを開け、B1
 レバーを左に倒して、定着
 ユニットを手前に引き出す。



 B2を持ってカバーを開 け、用紙を取り除く。



 取り除けないときは、 B3ノブを反時計回りに 回し、用紙を取り除く。
 定着ユニットを戻し、

左右の前カバーを閉める。

AUR031D

Cが表示されたとき



左右の前カバーを開け、
 B1レバーを左に倒して、
 定着ユニットを手前に引き出す。



 C1つまみを持って、排 紙ガイドを上げながら
 手前に引き出す。



 ・排紙ガイドを完全に引 き上げ、手前に倒す。



 ・C2ノブを反時計回りに 回し、用紙を取り除く。
 ・定着ユニットを戻し、 左右の前カバーを閉める。

AUR032D

Dが表示されたとき



左右の前カバーを開け、
 B1レバーを左に倒して、
 定着ユニットを手前に引き出す。



 C1つまみを持って、排 紙ガイドを手前に引き 出す。



 ・
 排紙ガイドを完全に引 き上げ、
 手前に倒す。



・用紙を取り除く。



- Dノブを反時計回りに回し、用紙を取り除く。
- 定着ユニットを戻し、
 左右の前カバーを閉める。

AUR033D

Eが表示されたとき



・右の前カバーを開け、 本体上トレイを持ち上 げながら手前に外す。



・E1を持って、中継ユニ ットカバーを開ける。



 ・ 左の前カバーを開け、 Dノブを反時計回りに 回す。



 用紙を取り除く。 中継ユニット、左右の 前カバーを閉じる。

AUR034D

P が表示されたとき(自動原稿送り装置(ADF)装着時)

• P1 のとき



・上カバーを開けて、原 稿を取り除く。 上カバ ーを閉める。



・取り除けないときは、 左カバーを開ける。



自動原稿送り装置(ADF)・取り除けないときは、 を持ち上げてP1ダイヤル を右に回し、原稿を取り 除く。



P1ダイヤルを左に回し、 原稿を取り除く。

AUR035D

• P2 のとき



・レバーを押しながら右 カバーを開ける。



・原稿を取り除く。



・取り除けないときは、 P2カバーを開け、原稿 を取り除く。



 ・自動原稿送り装置 (ADF)を開き、原稿を 取り除く。

AUR042D

R1 から R5 が表示されたとき(フィニッシャー装着時)



・上カバーを開ける。 ・用紙を取り除く。



・取り除けないときは、
 上カバー隣のカバー
 を開け、用紙を取り除く。



 ・前カバーを開ける。
 ・R1レバーの位置を確認 する。



・R1レバーを上げたまま、 用紙を取り除く。



・R2レバーを下げ、用紙 を取り除く。



・取り除けないときは、
 R3レバーを下げ、用紙
 を取り除く。



R4レバーを右に倒し、
 用紙を取り除く。



 ・R5レバーを手前にスラ イドさせ、用紙を取り 除く。
 ・前カバーを閉める。

AUR036D

Zが表示されたとき



 左右の前カバーを開け、 B1レバーを左に倒して、 定着ユニットを手前に 引き出す。



Z1レバーを下に押して
 両面ユニットを開く。



▪用紙を取り除く。



取り除けないときは、
 Z2レバーを下げて、
 用紙を取り除く。



取り除けないときは、
 Dノブを反時計回りに
 回し、下から出てきた
 用紙を取り除く。



取り除けないときは、Dノブを反時計回りに回し、上から出てきた用紙を取り除く。
 両面ユニットと定着ユニットを元に戻し、左右の前カバーを閉める。

AUR037D

ステープラーの針がつまったとき

ステープラーの針がつまったときの対応について説明します。

★ 重要

- ・用紙の「そり」が原因で、ステープラーの針が何度もつまることがあります。このとき は用紙の表と裏を反対にセットしてください。
- ・針づまりの処理後、フィニッシャーが針シートの位置合わせをする間はステープルされ ず、5-7 回ほど空打ちされます。



 フィニッシャーの前カ バーを開ける。



緑のレバーを持って、
 カートリッジを静かに引き抜く。



 カートリッジのフェース プレートを開く。



つまっている針を取り除く。



 フェースプレートを「カ チッ」と音がするまで押 して元に戻す。



緑のレバーを持ってカートリッジを差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込む。
 フィニッシャーの前カバーを閉める。

AUR038D

パンチくずがいっぱいになったとき

パンチくずがいっぱいになったときの対応について説明します。

/ フィニッシャーの前カバーを開けます。



2 パンチくず回収箱を静かに手前に引き抜き、パンチくずを取り除きます。



3 パンチくず回収箱を元に戻します。



4 フィニッシャーの前カバーを閉めます。 メッセージが消えます。 ↓ 補足

- ・「パンチくずが満杯です」というメッセージが表示されるとパンチを行うことができません。
- ・手順 **3** でパンチくず回収箱を元に戻さないと、「パンチくずが満杯です」のメッセージは 消えません。
- ・メッセージが消えないときはもう一度パンチくず回収箱をセットし直します。
- ・パンチくずが満杯になっていないのに、「パンチくずが満杯です」というメッセージがでることがあります。この場合には、パンチくず回収箱の上部内側にパンチくずが付着している可能性があります。付着しているパンチくずを取り除いてください。



8. 保守・運用のために

本機の保守・運用方法を説明します。

設置、移動、廃棄について

設置、移動、廃棄するときの注意事項を説明します。

☆ 重要

- ・本製品は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。
 日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。
- ・安全法規制(電波規制や材料規制など)は各国異なります。これらの規制に違反して、本 製品および消耗品などを諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

移動について

移動するときの注意事項を説明します。

⚠注意



 ・本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてく ださい。

★ 重要

- ・本機の位置を移動するときは、次の説明に従ってください。
- ・移動距離が大きいときや別の建物に移動するときは販売実施店に、別の階に移動すると きはサービス実施店に連絡してください。なお、この作業は有料となります。
- ・移動後は、必ずアースを接続してください。

フロア内移動について

フロア内の移動について説明します。

⚠注意



・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って ください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



€ 重要

- ・次のことに注意し、移動してください。
 - ・電源を「Off」にしてください。
 - ・前カバーや手差しトレイなどを閉めてください。
 - ・水平を保ち、静かに動かしてください。振動させたり、大きく傾けたりしないください。故障の原因になったり、ハードディスクやメモリーが破損し、蓄積された文書が 消失することがあります。
 - フィニッシャーなどのオプションが装着されたまま本機を移動するときは、サービス 実施店に連絡してください。

● 補足

 ・電源の切りかたについては、『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を 参照してください。

● 参照

・『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」

移動後の設置条件

移動後の設置条件について説明します。

設置場所について

設置場所について説明します。

⚠注意



- ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



・機械を移動したらキャスター留めをするなど固定してください。動いた り、倒れたりして、けがの原因になります。

・換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の 印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

次のような場所への移動は避けてください。不適切な場所へ移動すると正常にコピーがで きなくなったり、故障の原因になったりすることがあります。

・低温、低湿または高温、高湿の場所

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

- ・温度:10-30℃
- •湿度:15-90%RH
- ・直射日光のあたる場所
- ・暖房器具、冷房器具、加湿器に近い場所
- 振動の激しい場所
- 換気の悪い場所
- ・ほこりの多い場所
- ・石油ストーブや、アンモニアを発生させる機器(ジアゾコピー機など)の近く
- ・床や台が不安定な場所
 - ・水平な場所に設置してください。前後、左右共、高さの差が 5mm 以下になるようにし てください。
 - ・しっかりした床の上に設置してください。台の上に設置するときは、機械の大きさよ りも面積の広い専用のテーブルのようなしっかりとしたものを選んでください。

◆ 超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器に水道水や井戸水をご使用になると、水の中の不純物が白い粉となり、複 写機の内部に付着して印刷紙やコピーの汚れの原因になります。特に長時間連続して加 湿器をお使いになる場合は、加湿器用純水器のご使用をお勧めします。

設置に必要なスペース

本機の周囲には十分なスペースを設けてください。コピーの操作をするときやサービス担 当者が作業をするときなどに必要です。



	標準のとき
手前	70cm
奥行き	5cm
左	5cm
右	60cm

● 補足

・オプションを装着したときのスペースについてはサービス担当者に確認してください。

アースについて

アースについて説明します。

▲警告



本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。 ・コンセントのアース端子

・接地工事(D種)を行っているアース線

▮ 主電源が「Off」になっていることを確認します。

2 アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



電源について

電源について説明します。

▲警告

- ・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足 配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・延長コードの使用は避けてください。
 - ・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プ ラグを容易に外せるようにしてください。

⚠注意

・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電 源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原 因になります。



- ・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを コンセントから抜いてください。
- ・本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから 抜いてください。
- ・電源は、電圧が AC100V(周波数は 50/60Hz 共用)で容量 15A 以上のものを使用してく ださい。できるだけ、他の機器とはブレーカーが独立している電源に接続してください。
- ・電源プラグを抜くと、結露防止ヒーター、除湿ヒーターが切れます。
- ・電源プラグは電源コンセントに直接、しっかりと接続してください。
廃棄について

♦使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者 にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品毎に分解され、金 属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用し、再 利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

◆トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

使用後、不要になりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの 販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナお よび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に 従い廃棄処理されます。

◆二次電池について 本機は二次電池を使用しています。この二次電池は機械本体と一緒に回収しています。

清掃のしかた

原稿ガラス、原稿カバー、自動原稿送り装置(ADF)が汚れていると、きれいにコピーで きないことがあります。汚れたら清掃してください。

▶ 重要

- ・クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。す きまからしみこんだり、本体のプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。
- ・機械内部など、本書で説明している部分以外の清掃はサービス担当者におまかせください。
- ♦ お手入れの方法

やわらかい布で乾拭きします。乾拭きで汚れが取れないときは、水で濡らして固く絞っ た布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使って拭きます。水拭き後、乾 拭きをして水気を十分に取ります。

原稿ガラスの清掃

原稿ガラスの清掃について説明します。



原稿ガラスを拭きます。

原稿カバーの清掃

原稿カバーの清掃について説明します。



白い部分を拭きます。

自動原稿送り装置(ADF)の清掃

自動原稿送り装置(ADF)の清掃について説明します。



白い部分を拭きます。

8

電源プラグの清掃

電源プラグの清掃について説明します。

⚠注意



 ・電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周 辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

☆ 重要

- ・電源プラグを抜くときは、主電源スイッチを「Off」にしてください。詳しくは、『本機 のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。
- ・主電源スイッチを「Off」にしたまま約1時間経過すると、ファクスのメモリーに蓄積さ れている内容が消去されます。
- ・清掃後は、必ずアースを接続してください。
- ♦ お手入れの方法 乾いた布で、ほこりを取り除きます。



E 参照

・『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」

製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式は次の 2 つの方式があります。

- ・コピーチャージ方式
 トナー、用紙などの消耗品を除く、複写機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行い、その対価としてコピー料金を申し受ける方式です。
- ・スポット方式

保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様の要請のつど料金を申し受ける方 式です。

詳しくは販売担当者もしくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

契約書について

保守サービスとしてコピーチャージ契約を結ばれたお客様は「コピーチャージ契約書」を、 ご購入の際お買い上げ販売店もしくは弊社ブランチが必要事項を記入し、お渡しいたしま す。

「コピーチャージ契約書」には、お買い上げになった製品の保守サービスの内容などが記載 されておりますので、よくお読みになった後、大切に保管願います。もし、「コピーチャー ジ契約書」の発行がなされていない場合は、お買い上げ販売店もしくは弊社ブランチへご 連絡ください。ただちに発行手続きをいたします。

※アフターサービスについてご不明な点がありましたら、お買い上げ販売店もしくは、最 寄りの弊社ブランチへお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。 弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7 年 間です。

索引

アルファベット索引

ADF 145
A が表示されたとき 130
Bが表示されたとき 130
Cが表示されたとき 131
Dが表示されたとき 131
ERROR MAIL NOTIFICATION 57
Eが表示されたとき132
PostScript 3 編 1
Pが表示されたとき 132
R1 から R5 が表示されたとき 133
RP-GL/2 編 1
RTIFF 編 1
TWAIN
TWAIN ドライバーが起動しない 89
USB 接続がうまくいかない64
Windows 2000 61
Windows 95/98/Me 61
Windows NT 4.0 61
Windows Server 2003 62
Windows XP Home Edition 63
Windows XP Professional 62
Z が表示されたとき 133

あ行

アースについて 141
赤トナーを補給する 120
移動 137, 138
移動後の設置条件 139
印刷
印刷が始まらない
印刷できない 79
印字
インストール 61
インターネットファクスで
エラーになったとき
エラーコードが表示されないメッセージ 66
エラーコードが表示されるメッセージ 68
エラー通知メール 57
エラーメッセージ 91,98
エラー履歴

エラーレポート58	8
エラーレポートが印刷されたとき 52	2
おもなオプションと略称 8	8
音量の調節 37	7

<u>か行</u>

回収 121, 143
カバーオープン表示
紙づまり 127
紙づまりを確認する 128
紙づまりを取り除く 129
キーカウンターをセットする 125
機能が実行されないとき 22
機能キー 14
機能キーの右側のランプが点灯したとき14
基本機能 31
給紙がうまくいかないとき
給紙トレイ1、2に用紙をセットする104
給紙トレイ3から5に用紙をセットする 106
給紙トレイの用紙サイズを変更する 111
きれいに印刷できないとき
クイックガイド 1
クライアントコンピューターにエラー
メッセージが表示されたとき 98
黒トナーを補給する 119
契約書について 147
原稿カバーの清掃 145
原稿ガラスの清掃 144
この本の読みかた 7
コピーがきれいにとれない
コピー機能がうまく使えない 25
コピー機能 / ドキュメントボックス機能編 1
コピーできない 31
困ったときには 9
こんなときには 1

<u>さ行</u>

サーバーからのエラーメール	59
サービスコール	9
サイドフェンス 1	11
システム状態	11

自動原稿送り装置(ADF)の清掃 14	5
集約 3	1
受信 4	7
使用済みトナーについて 12	1
使用説明書の分冊構成	1
状態表示メッセージ 6	5
初期設定編	1
スキャナー機能がうまく使えない 8	7
スキャナー機能編	1
ステープラーの針がつまったとき 13	4
ステープラーの針がなくなったとき 12	2
ステープル補給表示	9
済スタンプを交換する 12	3
清掃のしかた 14	4
製品の保守サービスについて 14	7
セキュリティ編	1
設置 137, 139, 14	0
設置スペース 14	0
設置場所について 13	9
操作できない 1	5
送信 4	7
送信・受信できない 4	7
その他のトラブルシューティング7	9

た行

蓄積文書を編集できない
電源 142, 146
電源断レポート 55
電源プラグの清掃 146
電源を切る/切れたとき54
天地の向き・表裏のある用紙 109
ドキュメントボックスについて 15
トナーがなくなったとき
トナーがなくなったときの送信 121
ドライバーの設定が必要なとき 79
トレーシングペーパー
(第二原図用紙)を
セットするとき 108

な行

ネットワークガイド	. 1
ネットワーク配信ができない	89
ネットワーク配信機能が使用できない	90

は行

廃棄 137
廃棄トナーボックス満杯表示
廃棄について 143
バックフェンス 111
パンチくずがいっぱいになったとき 135
パンチくず満杯表示 9
表示されるマークについて
ファイル送信時に
ネットワーク参照ができない 89
ファクス機能がうまく使えない 37
ファクス機能編 1
ブザー音について 10
プリンター機能がうまく使えない 61
プリンター機能編1
プリンタードライバーのインストール 61
フロア内移動について 138
文書にアクセスできない 89
編集 31
補修用性能部品について 147
保守・運用137
本機のご利用にあたって 1
本機の状態や設定内容を確認する11
本機の操作ができないとき 15

ま行

マークについて
マニュアル一覧表 3
マルチアクセス 22
ミスフィード表示
メール送信ができない 89
メッセージが表示されたとき 25, 40,
61, 65, 66, 68, 90, 91, 98
メモリーがいっぱいになったとき 35,51

や行

用紙がなくなったとき	103
用紙サイズ表示にないサイズを	
設定するとき	114
用紙サイズを変更するとき	111
用紙補給表示	9
用紙や原稿がつまったとき	127
読み取れない	. 87

<u>ら行</u>

リサイクル	 								121
両面	 								31
レターヘッド紙	 								109



- Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における 登録商標です。
- Adobe、PostScript、Acrobat は、Adobe Systems, Incorporated (アドビシステムズ社)の各国での登録商標また は商標です。
- Bluetooth 商標は、Bluetooth SIG Inc. 所有の商標です。
- TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。
- * Windows[®] 95の製品名は、Microsoft[®] Windows[®] 95です。
- * Windows[®] 98の製品名は、Microsoft[®] Windows[®] 98です。
- * Windows[®] Me の製品名は、Microsoft[®] Windows[®] Millennium Edition (Windows Me) です。
- * Windows[®] 2000 の製品名は以下のとおりです。 Microsoft[®] Windows[®] 2000 Professional Microsoft[®] Windows[®] 2000 Server
- * Windows[®] XP の製品名は以下のとおりです。 Microsoft[®] Windows[®] XP Professional Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition
- * Windows Server[®] 2003 の製品名は以下のとおりです。 Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 Standard Edition Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 Enterprise Edition Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 Web Edition
- * Windows NT[®] 4.0 の製品名は以下のとおりです。 Microsoft[®] Windows NT[®] Workstation 4.0 Microsoft[®] Windows NT[®] Server 4.0

😭 重要

- ・本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、 登録した内容が消失することがあります。
- ・本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社 は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承 ください。

おことわり

1.本書の内容に関しては、	将来予告なしに変更することがあります。	
2.本製品(ハードウェア、	ソフトウェア)および使用説明書(本書・付属説明書)を運用した結果	ţ
の影響については、いっ	っさい責任を負いかねますのでご了承ください。	
3.本書の一部または全部を	£無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。	

Kydcera お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡 ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp

